

平成 23 年度通常総会 議案

平成 23 年度
事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表
自平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 12 月 31 日

平成 24 年度
事業計画、収支予算書
自平成 24 年 1 月 1 日 至 平成 24 年 12 月 31 日

その他議案
「理事・監事・役員」、「相談役・顧問・参与」選任の件
「除名」の件

平成 24 年 3 月 2 日
社団法人北海道倶楽部

平成 23 年度通常総会 議案

平成 23 年度

事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表

自平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 12 月 31 日

平成 23 年度庶務事項報告	・ ・ ・ ・ 1
平成 23 年度事業報告	・ ・ ・ ・ 12
同上詳細（会報記事など）	・ ・ ・ ・ 17
平成 23 年度会員異動状況	・ ・ ・ ・ 26
正味財産増減計算書	・ ・ ・ ・ 27
同上内訳書 （事業別区分経理の内訳書）	・ ・ ・ ・ 28
キャッシュフロー計算書	・ ・ ・ ・ 29
貸借対照表	・ ・ ・ ・ 30
財産目録	・ ・ ・ ・ 31
収支計算書	・ ・ ・ ・ 32
計算書類に対する注記	・ ・ ・ ・ 33
監査報告書	・ ・ ・ ・ 34

平成 24 年度

事業計画、収支予算書

自平成 24 年 1 月 1 日 至 平成 24 年 12 月 31 日

平成 24 年度事業計画	・ ・ ・ ・ 35
平成 24 年度収支予算書	・ ・ ・ ・ 37

その他議案

「理事・監事・役員」、「相談役・顧問・参与」 選任の件	・ ・ ・ ・ 38
定款第 11 条に基づく 会費未納者等の除名について	・ ・ ・ ・ 40

（金額は原則円単位です。）

平成23年度庶務事項報告

平成23年1月1日から平成23年12月31日まで

種 別	概 要																			
1. 通常総会 3月8日	<p>第1号議案 「平成22年度 事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書」ほか承認の件</p> <p>第2号議案 「平成23年度 事業計画、事業予算書」承認の件</p> <p>第3号議案 その他総会議案 定款第11条に基づく会費未納者等の除名について (於 東京 恵比寿 サッポロビール(株) 本社講堂)</p>																			
2. 理事会 2月17日	<p>第1号議案 通常総会議案の件 平成23年3月8日開催の平成22年通常総会議案について。</p> <p>第2号議案 新入会員審査の件 新入会員別紙記載のとおり</p> <p>第3号議案 その他</p> <p>1. 北方領土返還運動キャンペーン「ブラウンリボンバッジ」頒布、北海道新幹線早期実現キャンペーン「新幹線バッジ」頒布の状況について (2月14日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ブラウンリボンバッジ」頒布数 11,697個 (昨年1月からの総頒布数) ・「新幹線バッジ」頒布数 3,039個 (昨年8月からの総頒布数) <p>2. 新年交礼会実施結果について キャンペーン 「北方領土返還」、「北海道新幹線早期実現」、「ふるさと納税」</p> <table border="1" data-bbox="438 1176 981 1400"> <tr> <td>出席人数</td> <td>210</td> <td>人</td> <td rowspan="6">1月28日(金) 18時 ホテル ニューオータニ麗の間 参加者 約210人</td> </tr> <tr> <td>案内郵送費他</td> <td>165,330</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>ホテルほか</td> <td>1,604,083</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>合計費用</td> <td>1,769,413</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>1,980,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>210,587</td> <td>円</td> </tr> </table> <p>3. 公益法人移行について (検討中の主要項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的、事業について ・会員の種別について ・理事会 (理事会を少人数にし、評議員会に移行) について ・財政基盤について <p>4. 総会は3月8日(火曜日) 12時30分 (サッポロビール本社講堂) の予定</p> <p>5. 平成23年の理事会予定 (於 北海道東京事務所会議室)</p>	出席人数	210	人	1月28日(金) 18時 ホテル ニューオータニ麗の間 参加者 約210人	案内郵送費他	165,330	円	ホテルほか	1,604,083	円	合計費用	1,769,413	円	収入	1,980,000	円	差引	210,587	円
出席人数	210	人	1月28日(金) 18時 ホテル ニューオータニ麗の間 参加者 約210人																	
案内郵送費他	165,330	円																		
ホテルほか	1,604,083	円																		
合計費用	1,769,413	円																		
収入	1,980,000	円																		
差引	210,587	円																		
4月28日 (書面理事会)	<p>第1号議案 新入会員審査の件 別紙 (入会申込者一覧表) 記載のとおり。</p> <p>第2号議案 理事辞任の件 平成23年3月1日理事辞任 羽田野 主税</p> <p>第3号議案 その他 (報告承認事項)</p>																			

種 別	概 要
	<p>1. キャンペーンの状態（平成23年4月11日現在）</p> <p>① ふるさと納税の状態 本年度申込者（ギフトカタログ送付数）・寄付金額計／同累計 4名・235,022円／155名・18,175,022円</p> <p>② ブラウンリボンバッジの状態 本年度頒布数・金額／同累計 2,367個・379,540円／12,203個・2,261,052円 北方領土への想いをうたった「ちぎれ千島に雲が飛ぶ（森繁久彌作詞、岩代浩一作曲）」を700枚（総額235,200円）購入。頒布・販売方法等、今後の対応は事務局にて対応（収録 森繁久彌、紙谷加寿子の歌各1曲、カラオケ2曲）</p> <p>③ 新幹線バッジの状態 本年度頒布数／同累計・金額 36個・9,000円／2,843個・405,710円</p> <p>2. 後援名義の使用承認の件 （事後、資料添付）道産子サッポロビール会</p> <p>3. 交流の夕べ（予定）8月4日18時 銀座ライオンを仮予約</p> <p>4. 理事会の予定 （書面理事会）</p>
6月16日	<p>第1号議案 交流の夕べの件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成23年8月4日（木）18～20時 ・場所：銀座スターホール（東京都中央区銀座5-8-1 サッポロ銀座ビル9F） ・会費7,000円 ・参加者 広く募集する、約100人の予定 ・予定行事 <ul style="list-style-type: none"> 1. 北海道倶楽部の下記キャンペーンの広報活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ① 北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ キャンペーン ② 北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」バッジ キャンペーン（「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD告知） ③ ふるさと納税 キャンペーン <p>上記各キャンペーンなど北海道倶楽部のキャンペーンを紹介、広報する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2. 北海道関係者の交流に資する。 3. アトラクション（「ビヤホールの日」のアトラクションを招致） <p>第2号議案 特別講演会の件</p> <p>本年度特別講演会は「高橋はるみ北海道知事」に依頼中 時期、演題は未定、会場はサッポロビール本社講堂で調整中</p> <p>第3号議案 第30回北方領土ノサップ岬マラソン大会協力の件</p> <p>昨年と同様、標記に対応する。 協力内容：マラソン大会の「プログラム広告」と「賞品提供（北海道倶楽部賞）」 日時等：8月21日（日）根室市役所前集合、約600名参加予定 担当倶楽部役員、予算等：次号議案と連携の上決定（総予算5～6万円程度）</p>

種 別	概 要												
	<p>第4号議案 北方領土周辺地域視察、交流事業の件（第4号議案資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙の通り対応する。（7月11日ㄨ切） ・日時等：8月19日（金、千歳前泊）～21日（日） ・最小催行人数20名。 ・詳細は新事業部会で検討する。 <p>第5号議案 北海道フェア参加の件（第5号議案資料）</p> <p>昨年よりも参加規模を縮小のうえ代々木の北海道フェアに参加する。（詳細は幹事会で検討する。）</p> <p>(1) 参加内容： 北海道情報の発信（倶楽部キャンペーンについての広報を主体とする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テント内にテーブルを設置しパネル、パンフレット、バッジを展示 <p>(2) 日程：9月30日（金）～10月2日（日）</p> <p>(3) 代々木公園B地区イベント広場（NHKホール横）</p> <p>(4) 予算：北海道情報紙“北海道NOW”印刷・配布 60万円 イベント会場関連費用 20万円 計80万円</p> <p>第6号議案 役員改選、新入会員審査の件（第6号議案資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参与交代 平成22年8月9日辞任 押田 義一 平成23年6月16日就任 青木 正美 <p>第7号議案 その他（第7号議案資料）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公益社団法人認定の検討等の状況（目的・事業・会員数・会費収入等資料） 2. 交流イベントの件 <ul style="list-style-type: none"> ・本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月25日（火）18時に行う。 ・詳細については既存事業部会で検討する。 3. 平成23年版会員名簿発行の件 10月1日もしくは9月1日に発行の予定である。 4. 北海道事務所建て替えについて 道が提案募集、検討中である。 5. 後援名義の使用承認の件（別添「後援名義資料」事後承認） 「NPO法人北海道科学活動ネットワーク」からの「11 青少年のための科学の祭典北海道大会」開催に伴う後援名義の使用承認について （於 北海道東京事務所 会議室） 												
<p>8月31日 （書面理事会）</p>	<p>第1号議案 「第15回交流の夕べ」開催報告の件（当日の次第は別紙1-1）</p> <p>1. 公益事業費 交流の夕べ（2011/08/04：銀座スターホール）収支表 出席人数149人</p> <table border="1" data-bbox="751 1776 1485 2092"> <thead> <tr> <th>交流の夕べ概算</th> <th>万円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流の夕べ費用（サッポロライオン払い）</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>その他（案内郵送、受付2人、交通費ほか）費用</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>支出合計</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>交流の夕べ 参加費収入（149人×7千円）</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>差引残</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 開催状況等 高橋知事も出席して、新幹線「早期実現バッジ」、北方領土早期返還「ブラウンリボンバッジ」、ふるさと納税「ギ</p>	交流の夕べ概算	万円	交流の夕べ費用（サッポロライオン払い）	63	その他（案内郵送、受付2人、交通費ほか）費用	5	支出合計	68	交流の夕べ 参加費収入（149人×7千円）	104	差引残	36
交流の夕べ概算	万円												
交流の夕べ費用（サッポロライオン払い）	63												
その他（案内郵送、受付2人、交通費ほか）費用	5												
支出合計	68												
交流の夕べ 参加費収入（149人×7千円）	104												
差引残	36												

種 別	概 要
	<p>フトカタログ」のキャンペーンを実施。</p> <p>昨年より参加者が増え、会場の定員限界までになり、盛会にてキャンペーンを行った。</p> <p>第2号議案 北方領土隣接地域視察、講演会ほか報告の件（別紙添付日程表ほか 2-1 2-2 2-3 2-4）</p> <p>北海道北方領土対策根室地域本部からの呼びかけに応じた、標記の件は、松田会長（会長随行者 徳本英雄社団法人北海道総合研究調査会理事長）、岡村副会長、本間事務局長の参加で8月20～21日に行われた。</p> <p>行程初日は標津町サーモン科学館・鮭節製造、国後島別海クルーズ、松田会長の北方領土問題についての講演会（50名参加、北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会主催）、地元自治体・経済界など18名の夕食懇談会。</p> <p>翌日は納沙布岬北方館、道立北方四島交流センター、元島民との懇談、北方領土ノサップ岬マラソン大会の表彰式・閉会式出席などもり沢山の有意義な交流を果たした。</p> <p>岡村副理事長が出席したマラソン大会（第3号議案参照）は677人のエントリーで盛大に競われた。この大会の閉会で視察交流の全行程は終了。</p> <p>第3号議案 「第30回 北方領土ノサップ岬マラソン」協力報告の件</p> <p>8月21日根室市で実施、677人エントリー（昨年より74人減少）。</p> <p>当日のプログラムに広告出稿（別添3-1）、北海道倶楽部から賞品提供、CD「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」配布などで北方領土返還運動を推進。</p> <p>当日、倶楽部から岡村副理事長、本間事務局長が式典に参列した。盛会にて終了。</p> <p>第4号議案 第48回「交流イベント We Love Hokkaido -各種キャンペーン」開催の件</p> <p>上記名称にて、通算48回目の交流イベント（旧道産子の会）を開催する。</p> <p>当倶楽部では、昭和37年9月の「北海道人交歓パーティー」を初回として、「道産子の会」を開催してきた。今年は第48回目にあたる。今回は、公益事業の視点から、北海道倶楽部が行っている北海道のための各キャンペーンを中心とする。</p> <p>開催日時 平成23年10月25日18時～20時</p> <p>場所 明治記念館 富士の間（昨年と同じ会場です。）</p> <p>開催内容 昨年に準じて実施する。北海道倶楽部の主催とする。</p> <p>協賛金、協賛品、入場券の前売り実施。</p> <p>① ふるさと納税キャンペーン</p> <p>② 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン</p> <p>③ 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p> <p>④ 北海道産品の配布</p> <p>⑤ 福引き</p> <p>※実施アトラクションほか詳細は既存事業部会で検討中</p> <p>第5号議案 新入会員審査の件および会員月末集計</p> <p>別紙記載のとおり</p>

種 別	概 要
	<p>第6号議案 理事辞任、就任の件</p> <p>下記の通り、ご承認願います。</p> <p>平成23年8月31日理事辞任 恩村 裕之 永島 雄二 溝口 博史</p> <p>平成23年8月31日理事就任（任期平成24年3月22日まで） 高橋 多華夫 近江 秀彦 壺岐 聡</p> <p>第7号議案 北海道東京事務所建て替えの件</p> <p>今後、北海道と協議し、今後については理事会の承認を得て進めたい。</p> <p>理事会等での検討経緯</p> <p>平成20年12月17日理事会 新聞報道等で建て替え計画の存在を知り、北海道宛に「意見書」を提出する予定をしていた。</p> <p>平成22年6月17日理事会 経済状況の変化で計画の進行が中断されていたが、再開の動きがあるので、「意見書（案）」を検討した。</p> <p>検討の結果、北海道事務所建て替えについては単なるお願いの文書ではなく、北海道倶楽部の貢献によって北海道事務所建設が行われた歴史を記し、応分の配慮を持って倶楽部の新事務所に対応してもらうこととされた。</p> <p>平成22年10月21日理事会 高橋はるみ北海道知事宛の「社団法人北海道倶楽部の事務所使用について」という標題文書を提出することを決定し、同日川城北海道事務所長を經由して知事に提出した。</p> <p>平成23年1月13日 松田会長、小池副会長 知事に要請 高橋はるみ北海道知事を訪ね、「北海道倶楽部事務局については、新築後もこれまで通りの条件で入居させて欲しい」と要請した。</p> <p>これに対し、知事は「北海道倶楽部が北海道のためにさまざまな公益活動を行っていることに感謝している」と述べた上、基本的に倶楽部の要請を受け入れる意向を示した。</p> <p>平成23年8月8日 報道発表資料 「東京事務所用地有効活用事業」の優先交渉権者について 館山北海道東京事務所行政課長が事務局に標記の文書（添付7-1）を標記の日に事務局に持参された。新築後の事務所使用ほかの詳細については、同日後には何も無い。</p> <p>第8号議案 その他</p> <p>1. 北海道フェア参加の件の現況報告（6月理事会付議済である） 北海道情報の発信（倶楽部キャンペーンについての広報を主体とする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テント内にテーブルを設置しパネル、パンフレット、バッジを展示 ・北海道情報紙“北海道NOW”を「代々木近辺に新聞折り込配布」及び「会場内配布」する。 <p>1面：倶楽部のキャンペーンとふるさと会のブースの紹介</p>

種 別	概 要
	<p>2面：北方領土隣接地域の観光、物産、食などと、北方領土問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“北海道 NOW” 持参の倶楽部キャンペーン来訪者に毎日先着 100 名に道産品のプレゼントを検討 (1) 日程：9月30日（金）～10月2日（日） (2) 代々木公園 B 地区イベント広場（NHK ホール横） <p>2. 平成 23 年版会員名簿発行の件</p> <p>9月1日に発行の予定である。会報に同封する。広告収入と製作原価のバランスがとれて収支黒字の予定。</p> <p>3. 後援名義の使用承認の件（別添 8-1「後援名義使用承認願」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと会連合会」からの「第 17 回産直フェア」（北海道フェア）開催に伴う後援名義の使用承認について <p>4. 以後の理事会等予定 （書面理事会）</p>
10月20日	<p>第 1 号議案 キャンペーン等報告</p> <p>(1) 第 30 回北方領土ノサップ岬マラソン大会協力について 協力内容：マラソン大会の「プログラム広告」と「賞品提供（北海道倶楽部賞）」 日時：8月21日（日） 根室市役所前集合、約 600 名参加・担当倶楽部役員岡村副理事長が閉会式・授賞式（プレゼンター）に参加（同行、本間事務局長） 予算（6月理事会 総予算 5～6 万円程度）に対し、プログラム広告 20,000 円賞品提供 51,970 円で合計 71,970 円の実績であった。</p> <p>(2) 北方領土周辺地域視察、交流事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月理事会で企画提案した。最小催行人数に達しなく中止となったが、松田会長、岡村副理事長、本間事務局長の 3 名でほぼ当初の日程で対応した。なお、根室振興局からの強い要望で松田会長の「北方領土についての講演会」（地元自治体・経済界の要職 50 人参加）が行われ大好評を得た。（地元紙、会報 9 月号掲載）・日時等：8月19日（金）～21日（日）・人数 3 名・費用各人負担・現地各所説明者謝礼、交流会費用等（計 104,035 円）は倶楽部負担 <p>(3) 北海道フェア in 代々木開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月30日、10月1～2日代々木公園で開催 <p>（6月理事会での承認予算は 20 万円、会場費の請求額は未定だが、北海道“NOW”の配布とあわせた 80 万円の予算内の予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総入場者約 30 万人弱（昨年約 37 万人） ・北方領土返還、北海道新幹線早期実現、ふるさと納税キャンペーンを行った。 ・同上のイベントの一環で鮭節（華ふぶき、先着 300 名）のプレゼント。同試供品（600 個）プレゼント。（ふるさと納税、北方領土のパンフレットと一緒に配布）鮭節仕入れ金額 63,150 円 <p>(4) 北海道情報紙 北海道“NOW”の配布について 北海道情報（キャンペーン等）の発信と北海道フェアの告知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11万部印刷し、代々木沿線に全国紙 3 紙の折り込み配布（10万部）をした。 ・北海道フェア in 代々木会場内北海道倶楽部のブースで配布した。

種 別	概 要
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土隣接地域の特集記事掲載協力を受けた北海道根室振興局に 5,000部送り、1市4町ほかに配布した。 印刷代 236,670円 (昨年241,500円) 折り込み 315,000円 (昨年346,500円) 会場内配布 0円 (昨年154,500円) 合計 551,670円 (昨年682,500円) 税込 <p>(6月理事会での承認予算は60万円、会場費とあわせ80万円)</p> <p>(5) ふるさと納税対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> * 22年総計 ふるさと納税ギフト申込者数 78人、総寄附額 9780千円 * 23年10月18日時点 ふるさと納税ギフト申込者数18人、総寄附額1155千円 <p>(6) 北方領土返還運動推進ブラウンリボン配布について (10月17日現在)</p> <p>累計配布数 (無料分を含む) 11,940個</p> <p>(7) 早期実現 北海道新幹線バッジ配布について (10月17日現在)</p> <p>累計配布数 (無料分を含む) 2,875個</p> <p>(8) 第48回交流イベント開催の現況について (10月14日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 (予定) は別紙の通り ・ 入場券 <ul style="list-style-type: none"> 事前販売入場券100枚 (100万円相当) 事前贈呈招待券172枚 (御協賛のかた) 小計272枚 当日売入場券 120枚 (予想 120万円) 合計392枚 (予想数392人、申込者総人数197人) ・ 協賛金 186万円 ・ 予想現金収入合計 406万円 (事前販売、当日売、協賛金) <p>第2号議案 新年交礼会について</p> <p>昨年同様に実施したい。</p> <p>1月27日 (金) 18時 ホテルニューオオタニ 麗の間</p> <p>第3号議案 新入会員審査の件</p> <p>新入会員別紙記載のとおり</p> <p>第4号議案 北海道事務所建て替えについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年10月理事会で承認を受けた文書を知事宛に提出済である。 ・ 本年1月13日に松田会長と小池副会長が道庁に高橋知事を訪ね「新築後もこれまで通りの条件で入居させてほしい」と協力を要請した。 <p>知事は「倶楽部が北海道のためにさまざまな公益活動を行っていることに感謝している」と述べた上、基本的に倶楽部の要望を受け入れる意向を示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年8月8日に道の発表によると、優先交渉権者が決定した。(8月理事会で報告) ・ 概略プランとスケジュールの提示を受ける (10月13日) <p>このスケジュールだと2月理事会でご承認いただく必要がある。概略の提示であるがふるさと会などの他の団体との調整を進め、新建物移転の基本方針と</p>

種 別	概 要
	<p>配置計画を作成し、道に提示し成案を固めたい。</p> <p>第5号議案 公益法人認定・その他</p> <p>1. 公益法人認定に係る具体の業務は11月から実施する予定である。定款案の作成から始める。</p> <p>2. 次回12月理事会は15日(木)12時の予定。</p> <p>以後の理事会ほか予定 公益法人認定などによる変更等があり得る。</p> <p>(於 北海道東京事務所 会議室)</p>
12月15日	<p>第1号議案 本年度事業報告、来年度事業計画策定の方針(総会議案)</p> <p>(1) 本年度事業報告案は別紙の案を基に12月末時点の調整を行った上作成したい。</p> <p>別紙の残高試算表(暫定)は現時点の最新のものであるが、引当金処理、今後派生する会計処理の記帳など未了である。</p> <p>(2) 来年度事業計画については、公益認定を見据え、本年度の事業と同様な下記事業を行うことを基本方針として作成する。計画実施に当たっては、北海道東京事務所の建て替え計画の影響を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン自体 <ul style="list-style-type: none"> ① ふるさと納税キャンペーン ② 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン ③ 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン ・キャンペーン推進のための交流事業 <ul style="list-style-type: none"> [新年交礼会(1月)、交流の夕べ(8月)、交流イベント(10月)] ・キャンペーン推進のためのメディア事業 <ul style="list-style-type: none"> [会報、北海道情報ラック、広報紙] ・キャンペーン推進のための調査研究事業、北方領土隣接地域視察・交流 <ul style="list-style-type: none"> [講演会、視察交流] <p>(3) 各事業における具体のコンテンツは本年のコンテンツを基に各部会で協議し検討のうえ実施することとする。</p> <p>(4) 役員の改選は全員再選としたい。</p> <p>(5) 総会に会員除名の議案を提出したい。(対象は下記会員)(12月5日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間会費未納の会員 (現在該当正会員10名) <p>総会前に再請求をしても、完納しない場合 (連絡先が不明の会員は本年度該当者ありません。)</p> <p>参考：定款第11条(一部)</p> <p>会員が次の各号の一つに該当するときは、総会の議決により、理事長がこれを除名することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 会費を1年以上滞納したとき (2) この法人の会員としての義務に違反したとき (3) (省略) <p>第2号議案 新入会員審査の件、会員数ほかについて</p>

種 別	概 要																														
	<p>新入会員別紙記載のとおり</p> <p>第3号議案 キャンペーンほか報告</p> <p>1. キャンペーン報告 (12月13日時点)</p> <p>①ふるさと納税キャンペーン</p> <p>本年度申込者総数 49名 (昨年 57名)</p> <p>道：市町村比 10:39 (昨年 23:50)</p> <p>寄附金額総計 3,051,022円 (昨年 6,040,000円)</p> <p>②北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン</p> <p>配布バッジ数累計 13,632個 (無料分を含む) (うち本年度配布 5,239個)</p> <p>収入金額 2,373,023円</p> <p>(発注バッジ総数 16,530個、発注金額 1,920,150円)</p> <p>③北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p> <p>配布バッジ数累計 2,887個 (無料分を含む) (うち本年度配布 80個)</p> <p>収入金額 462,908円</p> <p>(発注バッジ総数 6,000個、金額 675,675円)</p>																														
	<p>2. 平成23年度会員名簿発行の報告</p> <p>・発行日平成23年9月1日 発行部数1,300部</p> <p>・「ちょっと暮らし」の情報特集に協力し、今回新規に広告料25万円が計上出来た。</p> <p>・版下を完全内製化したため、一部単価308円に収まった。</p>																														
	<p>3. 第48回交流イベント報告</p> <p>・下記の次第、事業収支で盛会にて終了した。参加者約400名</p> <p>・当日会費ほか収入126万円(121人分)</p>																														
	<table border="1"> <tr> <td>名簿広告料収入</td> <td>1,770,000</td> </tr> <tr> <td>郵送料他</td> <td>237,336</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>支出合計</td> <td>637,336</td> </tr> <tr> <td>差引収入</td> <td>1,132,664</td> </tr> </table>	名簿広告料収入	1,770,000	郵送料他	237,336	印刷製本費	400,000	支出合計	637,336	差引収入	1,132,664																				
名簿広告料収入	1,770,000																														
郵送料他	237,336																														
印刷製本費	400,000																														
支出合計	637,336																														
差引収入	1,132,664																														
	<p>事業収支 (仮)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>勘定科目</th> <th>当期仮残高(合計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[収入]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交流、キャンペーン等収入</td> <td>4,090,000</td> </tr> <tr> <td>収入高合計</td> <td>4,090,000</td> </tr> <tr> <td>[事業費・管理費]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸謝金・雑給</td> <td>155,000</td> </tr> <tr> <td>外注費</td> <td>14,700</td> </tr> <tr> <td>荷造運賃</td> <td>227,290</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費</td> <td>6,420</td> </tr> <tr> <td>通信費</td> <td>103,770</td> </tr> <tr> <td>会合費</td> <td>3,834,603</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>19,225</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td>69,194</td> </tr> <tr> <td>事業費・管理費計</td> <td>4,430,202</td> </tr> <tr> <td>事業損益金額</td> <td>-340,202</td> </tr> </tbody> </table>	勘定科目	当期仮残高(合計)	[収入]		交流、キャンペーン等収入	4,090,000	収入高合計	4,090,000	[事業費・管理費]		諸謝金・雑給	155,000	外注費	14,700	荷造運賃	227,290	旅費交通費	6,420	通信費	103,770	会合費	3,834,603	消耗品費	19,225	雑費	69,194	事業費・管理費計	4,430,202	事業損益金額	-340,202
勘定科目	当期仮残高(合計)																														
[収入]																															
交流、キャンペーン等収入	4,090,000																														
収入高合計	4,090,000																														
[事業費・管理費]																															
諸謝金・雑給	155,000																														
外注費	14,700																														
荷造運賃	227,290																														
旅費交通費	6,420																														
通信費	103,770																														
会合費	3,834,603																														
消耗品費	19,225																														
雑費	69,194																														
事業費・管理費計	4,430,202																														
事業損益金額	-340,202																														
	<p>4. 講演会について</p> <p>本年度は高橋はるみ知事の講演を予定していたが、調整が出来ず本年度事業での講演会開催はできなかった。</p> <p>5. 新年交礼会について</p> <p>NPO 法人住んでみたい北海道推進会議より、ブースの設置と広報活動をした</p>																														
	<table border="1"> <tr> <td> <p>第四十八回交流イベント次第</p> <p>ふるさと納税・北方領土返還・新幹線早期実現</p> <p>We Love Hokkaido</p> <p>ふるさと納税・北海道キャンペーン</p> <p>担当副理事長 香西 翠 羽衣 千鳥子</p> <p>17時30分 受付開始</p> <p>17時45分 歓迎 歌うハイオリニスト「百香」</p> <p>18時00分 開演</p> </td> <td> <p>一、開会の辞 北海道倶楽部理事長 西村 守正</p> <p>二、国土交通省のご挨拶 大臣官房参事官 関 博之殿</p> <p>三、北海道のご挨拶 知事 高橋 はるみ殿</p> <p>四、国会議員、市町村長、国土交通省、北海道、宮城県関係者ほかご紹介 松田 昌士</p> <p>五、北海道倶楽部会長挨拶 村上 隆男</p> <p>六、乾杯</p> <p>七、懇親 (十八時〇〇分)</p> <p>「ちぎれ千鳥に雲が飛ぶ」ほか 歌うハイオリニスト「百香」(十八時四十分)</p> <p>八、福引き抽選 (十九時)</p> <p>散会 (二十時流れ散会 予定)</p> </td> </tr> </table>	<p>第四十八回交流イベント次第</p> <p>ふるさと納税・北方領土返還・新幹線早期実現</p> <p>We Love Hokkaido</p> <p>ふるさと納税・北海道キャンペーン</p> <p>担当副理事長 香西 翠 羽衣 千鳥子</p> <p>17時30分 受付開始</p> <p>17時45分 歓迎 歌うハイオリニスト「百香」</p> <p>18時00分 開演</p>	<p>一、開会の辞 北海道倶楽部理事長 西村 守正</p> <p>二、国土交通省のご挨拶 大臣官房参事官 関 博之殿</p> <p>三、北海道のご挨拶 知事 高橋 はるみ殿</p> <p>四、国会議員、市町村長、国土交通省、北海道、宮城県関係者ほかご紹介 松田 昌士</p> <p>五、北海道倶楽部会長挨拶 村上 隆男</p> <p>六、乾杯</p> <p>七、懇親 (十八時〇〇分)</p> <p>「ちぎれ千鳥に雲が飛ぶ」ほか 歌うハイオリニスト「百香」(十八時四十分)</p> <p>八、福引き抽選 (十九時)</p> <p>散会 (二十時流れ散会 予定)</p>																												
<p>第四十八回交流イベント次第</p> <p>ふるさと納税・北方領土返還・新幹線早期実現</p> <p>We Love Hokkaido</p> <p>ふるさと納税・北海道キャンペーン</p> <p>担当副理事長 香西 翠 羽衣 千鳥子</p> <p>17時30分 受付開始</p> <p>17時45分 歓迎 歌うハイオリニスト「百香」</p> <p>18時00分 開演</p>	<p>一、開会の辞 北海道倶楽部理事長 西村 守正</p> <p>二、国土交通省のご挨拶 大臣官房参事官 関 博之殿</p> <p>三、北海道のご挨拶 知事 高橋 はるみ殿</p> <p>四、国会議員、市町村長、国土交通省、北海道、宮城県関係者ほかご紹介 松田 昌士</p> <p>五、北海道倶楽部会長挨拶 村上 隆男</p> <p>六、乾杯</p> <p>七、懇親 (十八時〇〇分)</p> <p>「ちぎれ千鳥に雲が飛ぶ」ほか 歌うハイオリニスト「百香」(十八時四十分)</p> <p>八、福引き抽選 (十九時)</p> <p>散会 (二十時流れ散会 予定)</p>																														

種 別	概 要
	<p>いとの申し出があったので、会場費の分担も頂けると言うことなので、承認をお願いしたい。他は昨年同様に実施したい。1月27日(金)18時 ホテルニューオータニ 麗の間</p> <p>6. 公益法人移行について 移行期限は平成25年11月30日である。現在管理部会で対応を検討中である。定款については、五十嵐紀男弁護士と調整のうえ、管理部会で検討する予定。今後、種々のご意見を入れ作成していきたい。</p> <p>7. 本郷新作「雪華の像」真鍮文字取替え 修復について (1) 理事会でたびたび話題になった札幌オリンピックの時、北海道倶楽部が寄贈したモニュメントの修復について、当初施工会社である岩田地崎建設株式会社から見積を取っていたところ別紙の通り【真駒内公園「雪華の像」モニュメント真鍮文字取替え工事】の見積書が届いた。総額472,500円である。 (2) 本件は工事にあたって、北海道もしくは指定管理者である一般財団法人北海道体育文化協会等との調整が必要である。 上記の調整等を行ったうえ、岩田地崎建設株式会社に工事を発注したい。 (3) 本件の工事費の一部に当てるため会員各位に御協賛をお願いしたい。</p> <p>8. 総会は3月2日(火曜日)12時30分(サッポロビール本社講堂)の予定。昼食の用意はありません。</p> <p>9. 平成24年の理事会予定</p> <p>第4号議案 北海道東京事務所の建て替えについて (経緯の再録)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年10月理事会で承認を受けた文書を知事宛に提出済である。 ・本年1月13日に松田会長と小池副会長が道庁に高橋知事を訪ね「新築後もこれまで通りの条件で入居させてほしい」と協力を要請した。 <p>知事は「倶楽部が北海道のためにさまざまな公益活動を行っていることに感謝している」と述べた上、基本的に倶楽部の要望を受け入れる意向を示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年8月8日に道の発表によると、優先交渉権者が決定した。(8月理事会で報告) ・概略プランとスケジュールの提示を受ける(10月13日)(第4号議案資料) <p>このスケジュールだと2月理事会でご承認いただく必要がある。概略の提示であるがふるさと会などとの調整も進め、新建物移転の基本方針と配置計画を作成し、道に提示し成案を固めたい。</p> <p>上記までが前回理事会付議事項であった。</p> <p>(1) 新建物の案が変更になるということなので、北海道倶楽部からの提案をすべくこれを待っていたところ、北海道倶楽部宛に下記文書が来た。(別添の通り 第4号議案資料)</p> <p>①平成23年12月1日付で(社)北海道倶楽部理事長あてに北海道東京事務所長から「北海道東京事務所庁舎の移転に伴う行政財産使用許可期間の変更について(通知)」</p> <p>②平成23年12月1日付けで(社)北海道倶楽部あてに北海道東京事務所行</p>

種 別	概 要
	<p>政課長から「仮事務所への移転希望について」と移転希望の提出書式「東京事務所仮事務所への移転希望について」</p> <p>(2) 添付の下記文書(第4号議案資料)を北海道に提出したく、理事会の承認をお願いしたい。</p> <p>①新事務所計画に関する協議申入書</p> <p>②東京事務所仮事務所への移転希望について(2月理事会の承認を条件に提出)</p> <p>(3) 今後の協議結果の確認文書案につき2月16日の理事会で検討頂き、承認を得られなければ事務局としては退去(移転)の実施が出来ない。</p> <p>(4) 円満に収まるよう、機会をみて会長はじめ役員各位から高橋知事に働きかけをお願いしたい。北海道のための各種公益事業を行っている当倶楽部としては、北海道からの評価を頂き、今まで同様に公益活動が行えるような事務所提示を期待したい。</p> <p>(5) 本件については、管理部会が対応するものとし、五十嵐紀男弁護士(公益認定関係業務依頼済み)に依頼し、相談して進めたい。</p> <p>①は内容再検討のうえ管理部会で承認されたものを提出、②は①に記載する内容で良い。とされた。</p> <p>(於 北海道東京事務所 会議室)</p>

種 別	概 要																
<p>1.キャンペーン推進のための交流事業 新年交礼会 1月28日</p>	<p>・1月28日(金) 18時 ホテルニューオータニ麗の間 会費1万円 ・200人超の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「北海道新幹線早期実現」「ふるさと納税」をテーマに新年交礼会を開催した。 ・「きっかけグッズ」として北方領土返還運動推進のためにブラウンリボンバッジを、北海道新幹線早期実現のために新幹線バッジを新年交礼会で配布をした。</p> <div data-bbox="970 152 1481 862" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">We Love Hokkaido</p> <p style="text-align: center;">社団法人北海道倶楽部 平成23年新年交礼会</p> <table border="0" style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1. 本会の次事業です 開会の辞 北海道倶楽部副理事長 西西 慧</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部理事長 西村 守正</p> <p>3. 来賓挨拶 国土交通省 北海道知事 高橋 はるみ様 調整中です</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>5. 主催者ご挨拶 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>6. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>7. 懇談 積極的な交流(名刺交換など)を願います。 6:30</p> <p>8. 閉会(流れ解散) 8:00</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略) 来賓院議員(および事務局の代理の方) 荒井 健 逢坂 誠二 国土交通省 大臣官房審議官 高松 泰 独立行政法人 北方領土問題対策協会 理事長 岡瀬 強晴 北海道 知事 高橋 はるみ 東京事務所長 川城 邦彦 道内市町村東京事務所長 帯広市 神田 進紀志 釧路市 川村 修一 室蘭市 佐賀 孝宏 札幌市 堀川 政司 ご招待 伊藤 山田 百一</p> <p style="font-size: x-small;">平成23年北海道倶楽部新年交礼会平成23年1月28日(金)午後6時～8時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>We Love Hokkaido ふるさと納税・北方領土返還・新幹線早期実現</p> <p>キャンペーン</p> <p>ご来場の方は「新幹線」か「ブラウンリボン」 バッジをお付けください。お願いします。</p> </div> </td> </tr> </table> </div>	<p>1. 本会の次事業です 開会の辞 北海道倶楽部副理事長 西西 慧</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部理事長 西村 守正</p> <p>3. 来賓挨拶 国土交通省 北海道知事 高橋 はるみ様 調整中です</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>5. 主催者ご挨拶 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>6. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>7. 懇談 積極的な交流(名刺交換など)を願います。 6:30</p> <p>8. 閉会(流れ解散) 8:00</p>	<p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略) 来賓院議員(および事務局の代理の方) 荒井 健 逢坂 誠二 国土交通省 大臣官房審議官 高松 泰 独立行政法人 北方領土問題対策協会 理事長 岡瀬 強晴 北海道 知事 高橋 はるみ 東京事務所長 川城 邦彦 道内市町村東京事務所長 帯広市 神田 進紀志 釧路市 川村 修一 室蘭市 佐賀 孝宏 札幌市 堀川 政司 ご招待 伊藤 山田 百一</p> <p style="font-size: x-small;">平成23年北海道倶楽部新年交礼会平成23年1月28日(金)午後6時～8時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>We Love Hokkaido ふるさと納税・北方領土返還・新幹線早期実現</p> <p>キャンペーン</p> <p>ご来場の方は「新幹線」か「ブラウンリボン」 バッジをお付けください。お願いします。</p> </div>														
<p>1. 本会の次事業です 開会の辞 北海道倶楽部副理事長 西西 慧</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部理事長 西村 守正</p> <p>3. 来賓挨拶 国土交通省 北海道知事 高橋 はるみ様 調整中です</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>5. 主催者ご挨拶 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>6. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>7. 懇談 積極的な交流(名刺交換など)を願います。 6:30</p> <p>8. 閉会(流れ解散) 8:00</p>	<p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略) 来賓院議員(および事務局の代理の方) 荒井 健 逢坂 誠二 国土交通省 大臣官房審議官 高松 泰 独立行政法人 北方領土問題対策協会 理事長 岡瀬 強晴 北海道 知事 高橋 はるみ 東京事務所長 川城 邦彦 道内市町村東京事務所長 帯広市 神田 進紀志 釧路市 川村 修一 室蘭市 佐賀 孝宏 札幌市 堀川 政司 ご招待 伊藤 山田 百一</p> <p style="font-size: x-small;">平成23年北海道倶楽部新年交礼会平成23年1月28日(金)午後6時～8時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>We Love Hokkaido ふるさと納税・北方領土返還・新幹線早期実現</p> <p>キャンペーン</p> <p>ご来場の方は「新幹線」か「ブラウンリボン」 バッジをお付けください。お願いします。</p> </div>																
<p>交流の夕べ 8月4日</p>	<p>・日時：平成23年8月4日(木) 18～20時 ・場所：銀座スターホール(東京都中央区銀座5-8-1 サッポロ銀座ビル9F) ・会費7,000円 ・参加者 参加149名 ・新幹線「早期実現バッジ」、北方領土早期返還「ブラウンリボンバッジ」(「ちぎれ千島に雲がとぶ」CD告知)、ふるさと納税「ギフトカタログ」のキャンペーン実施。 ・3.11対応の募金を行った。 ・アトラクション(「ビヤホールの日」のアトラクション)も招致し、昨年より参加者が増え、会場の定員限界までになり、盛会にてキャンペーンを行った。</p> <div data-bbox="944 945 1481 1675" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第15回北海道倶楽部交流の夕べ 平成23年8月4日(木) 銀座スターホール</p> <p>次 第 (開始18時00分)</p> <table border="0" style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 開会挨拶 会長挨拶</td> <td style="width: 50%;">西村 守正(理事長) 松田 昌士(会長)</td> </tr> <tr> <td>2. 祝 辞</td> <td>青木 一郎様(国土交通省 大臣官房審議官) 高橋 はるみ様(北海道知事)</td> </tr> <tr> <td>3. ご来賓、国会議員 東京事務所長ほかご紹介 新入会員ご紹介</td> <td>(名簿○印記載の通り)(敬称略) 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員」の登録 会員のいずれも出席者(名簿※印記載の通り)</td> </tr> <tr> <td>4. 乾 杯(18時30分)</td> <td>香西 慧(副理事長)</td> </tr> <tr> <td>5. 懇 談</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. アトラクション(19時)</td> <td>サンバ</td> </tr> <tr> <td>7. 抽選会(19時30分)</td> <td>香西 慧(副理事長)</td> </tr> <tr> <td>8. 中締め(20時00分)</td> <td>岡村 進(副理事長)</td> </tr> </table> <p>(20時00分～ 流れ散会)</p> <p style="text-align: center;">第15回 交流の夕べ 社団法人北海道倶楽部</p> <p style="text-align: center;">キャンペーン</p> <p style="text-align: center;">東日本大震災 道内被災地にも支援を</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> <div style="text-align: center;"> <p>新幹線 早期実現</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ブラウンリボン 北方領土返還</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ギフトカタログ ふるさと納税</p> </div> </div> </div>	1. 開会挨拶 会長挨拶	西村 守正(理事長) 松田 昌士(会長)	2. 祝 辞	青木 一郎様(国土交通省 大臣官房審議官) 高橋 はるみ様(北海道知事)	3. ご来賓、国会議員 東京事務所長ほかご紹介 新入会員ご紹介	(名簿○印記載の通り)(敬称略) 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員」の登録 会員のいずれも出席者(名簿※印記載の通り)	4. 乾 杯(18時30分)	香西 慧(副理事長)	5. 懇 談		6. アトラクション(19時)	サンバ	7. 抽選会(19時30分)	香西 慧(副理事長)	8. 中締め(20時00分)	岡村 進(副理事長)
1. 開会挨拶 会長挨拶	西村 守正(理事長) 松田 昌士(会長)																
2. 祝 辞	青木 一郎様(国土交通省 大臣官房審議官) 高橋 はるみ様(北海道知事)																
3. ご来賓、国会議員 東京事務所長ほかご紹介 新入会員ご紹介	(名簿○印記載の通り)(敬称略) 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員」の登録 会員のいずれも出席者(名簿※印記載の通り)																
4. 乾 杯(18時30分)	香西 慧(副理事長)																
5. 懇 談																	
6. アトラクション(19時)	サンバ																
7. 抽選会(19時30分)	香西 慧(副理事長)																
8. 中締め(20時00分)	岡村 進(副理事長)																
<p>北方領土隣接地域視察、講演会 8月20～21日</p>	<p>北海道北方領土対策根室地域本部からの呼びかけに応じ、松田会長(会長随行者 徳本英雄社団法人北海道総合研究調査会理事長)、岡村副理事長、本間事務局長の参加で行われた。 行程初日は標津町サーモン科学館・鮭節製造、国後島別海クルーズ、松田会長の北方領土問題についての講演会(50名参加、北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会主催)、地元自治体・経済界など18名の夕食懇談会。 翌日は納沙布岬北方館、道立北方四島交流センター、元島民との懇談などもり沢山の有意義な交流を果たした。</p>																

種 別	概 要
<p>北方領土ノサップ岬マラソンに協力 8月21日</p>	<div data-bbox="624 159 1315 633" data-label="Image"> </div> <p>「第30回 北方領土ノサップ岬マラソン」に協力 8月21日根室市で実施、参加者約677人(昨年より74人減少)。北海道倶楽部から賞品提供、CD「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」配布や当日のプログラムに広告出稿などで北方領土返還運動を推進。</p> <p>当日、倶楽部から岡村副理事長、本間事務局長が式典に参列した。盛会にて終了。</p>
<p>北海道フェアに出展 9月30～2日</p>	<div data-bbox="778 656 1485 1160" data-label="Complex-Block"> <p>北方領土返還運動推進キャンペーン 1. バッジの趣旨 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行して、それをしっかり後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠です。返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底意を拡大してその輪をさらに広げることが必要です。そのためには、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がありますが、それを可能にするためには、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」が有効です。その趣旨から、「きっかけグッズ=バッジ」の頒布をすることとしました。</p> <p>2. 「ブラウンリボン」バッジ 北朝鮮の拉致問題のシンボルマークとして市民権を得ているブルーリボンと同じ形の色違いのバッジです。色は北方四島の「土地」の色であるベージュがかかったブラウン(土色)です。 色は北方四島の「土地」の色であるベージュがかかったブラウン(土色)です。 「人の拉致」に対し北方領土問題は「土地の拉致」です。主権と尊厳を侵されている2つの大きな国際問題です。</p> <p>〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所4F 電話 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022 社団法人北海道倶楽部 URL: http://www1.ocn.ne.jp/~h-d/ mail:hkkid-@snet1.ocn.ne.jp</p> </div> <p>・北海道情報紙“北海道NOW”を北方領土隣接地域と北海道倶楽部の出展の広報として、代々木沿線に新聞折り込み(10万部)、会場内と北方領土隣接区域にて配布(1万部)。</p> <p>1面：倶楽部のキャンペーンとふるさと会のブースの紹介 2面：北方領土隣接地域の観光、物産、食などと、北方領土問題</p> <p>・日程：9月30日～2日 代々木公園B地区イベント広場(NHKホール横)</p> <p>・北海道フェア in 代々木で北海道情報を発信(倶楽部キャンペーンの広報を含む)、テント1張りの内にテーブルを入れ、設置パネル、パンフレット、バッジを展示、配布。</p> <p>・北方領土返還、北海道新幹線早期実現、ふるさと納税の各キャンペーンを行った。</p> <p>・同上のイベントの一環で鮭節(華ふぶき、先着300名)のプレゼント。同試供品(600個)プレゼント。(ふるさと納税、北方領土のパンフレットと一緒に配布)</p> <p>・期間中の総入場者約30万人弱(北海道フェア in 代々木での総数)対象にキャンペーンをおこなうことが出来た。</p>

種 別	概 要
第 48 回交流イベント 10 月 25 日 (旧道産子の会)	開催日時 平成 23 年 10 月 25 日 18 時～ 20 時 場所 明治記念館 富士の間 開催内容 北海道倶楽部の主催 ・ 下記次第で盛会にて終了した。 ・ 参加者約 4 0 0 名 We Love Hokkaido 北海道キャンペーン ①ふるさと納税キャンペーン ②北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン ③北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン ④北海道産品の配布 ⑤福引き
2. キャンペーン ①ふるさと納税キャン ペーン	交流事業、メディア事業、ダイレクトメールなどを活用し本年はふるさと納税 ギフトの申込み数等は下記の通りであった。(開始 2008 年 7 月) 本年度申込者総数 76 名 (昨年 57 名) 道：市町村比 7:31 (昨年 23:50) 寄附金額総計 9,151,022 円 (昨年 6,040,000 円)
②北方領土返還推進 「ブラウンリボンバッ ジ」キャンペーン	1. 北方領土返還の意識を高めるための「ブ ラウンリボン」 バッジを実費で 頒布する。 2. 趣旨： 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行して、それ をしっかり後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠ですが、返還運動に関心 を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大してその輪をさらに 広げ ることが必要である。 そのためには、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がありますが、それを可能にするためには、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」 が有効である。その趣旨から、「きっかけグッズ」の頒布活動を事業 として推 進するものである。 3. 「ブラウンリボン」 バッジ： 北朝鮮の拉致問題のシンボルマークとして 市民権を得ているブルーリボンと 同じ形の色違いのバッジである。 色は北方四島の「土地」の色であるベージュ がかったブラウン (土色) で ある。「人の拉致」にたいし北方領土 問題は「土地の拉致」として、皆さんに 主権と尊厳を侵されている 2 つの 大きな国際問題であるとの関心を相乗効果 的に持ってもらいたいと思う。 新聞記事、交流事業、メディア事業、ダイレクトメールなどを活用し全国に 配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2010 年 1 月) 配布バッジ数累計 13,712 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 5,319 個) 収入金額 2,393,373 円 (発注バッジ総数 16,530 個、発注金額 1,920,150 円) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」をあわせて配布開始 (8 月より) 森繁建氏 (作詞者である故森繁久彌さんの次男) からの申し出を頂き、北方領

種 別	概 要
<p>③北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p>	<p>土を歌った標記の歌詞と楽譜を配布した。対象はブラウンリボンバッジ申込者</p> <p>1. 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布する。</p> <p>2. 趣旨： 北海道新幹線早期実現のためには、それをしっかり後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠ですが、新幹線早期実現推進運動の応援団を増やすためには、底辺を拡大してその輪をさらに 広げることが必要である。 そのためには、「日常会話に登場する北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要がありますが、それを可能にするためには、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」が有効である。その趣旨から、「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3. 早期実現「新幹線」バッジ：(写真：事業報告 資料参照) 絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25mm サイズのピンバッジである。色は北海道のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。 交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2010 年 8 月) 配布バッジ数累計 3,007 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 80 個) 収入金額 462,908 円 (発注バッジ総数 6,000 個、金額 675,675 円)</p>
<p>3. キャンペーン推進のための調査研究事業 特別講演会</p>	<p>本年度は講師予定者との日程があわず、中止。</p>
<p>4. キャンペーン推進のためのメディア事業 北海道情報紙「北海道倶楽部」の配布 「北海道 "NOW"」(カラー版)の配布</p>	<p>本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第644号から第654号まで発行(毎月1日、ただし2月1日号は休刊)会員以外への会報の配布も積極的におこなった。(ふるさと会、同窓会、北海道情報ラックなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「北海道 "NOW"」の発行配布は公益事業として、会員外の読者層を狙った記事を集め、配布対象を広げ配布することを目指すものである。 <p>第三回発行分 北海道情報(キャンペーン等)の発信と北海道フェアの告知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11万部印刷し、代々木沿線に新聞(全国紙3紙)の折り込み配布(10万部)をした。 ・北海道フェア in 代々木会場内北海道倶楽部のブースで配布した。 ・北方領土隣接地域の特集記事掲載協力を受けた北海道根室振興局に5,000部送り、1市4町ほかに配布した。
<p>北海道情報ラック</p>	<p>23カ所(レストラン、店舗等)設置 北海道関連のパンフレット</p>

種別	概要
	北海道情報紙「北海道NOW」などを毎月送付
会員名簿発行	内容： ・平成23年版会員、市町村、ふるさと会名簿 ・「ちょっと暮らし」の情報特集 ・発行日平成23年9月1日 発行部数1,300部

会員名簿

平成23年度
(2011年度)

社団法人北海道倶楽部

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17番17号
TEL03-3581-4021 FAX03-3581-4022
HP: <http://www.hokkaido-c.or.jp>
MAIL: hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp

会員名簿(二十一年度)

社団法人北海道倶楽部

目次

- ご紹介・入会ご案内・キャンペーン・定款 1
 - 社団法人北海道倶楽部のあゆみ 2
 - 社団法人北海道倶楽部のご紹介 3
 - ふるさと納税「ギフト」キャンペーン 4
 - 北方領土返還運動推進「プラウソリボンバッジ」キャンペーン 6
 - 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 8
 - 社団法人北海道倶楽部 理事・監事・役員 10
 - 入会お申込みほか(入会申込書・登録変更申込書) 12
 - 社団法人北海道倶楽部定款 17
- 維持会員 25
- 正会員・登録会員 69
- 市町村一覧(所在地 電話・FAX) 179
- ふるさと会一覧 185
- 北海道倶楽部の記録 193
 - 北海道倶楽部回顧録(上) 辰野清隆著 194
 - 昭和5年の会員名簿 204
 - 昭和9年5月の機関誌 創刊号 206
- 情報特集 北海道生活体験「ちょっと暮らし」 207
 - 「ちょっと暮らし」とは 209
 - 「ちょっと暮らし」の疑問にお答えします 211
 - 施設紹介 212
 - 道南エリア 213
 - 道央エリア 214
 - 道北エリア 220

半世紀を越えて

北海道倶楽部回顧録

北海道倶楽部常務理事 辰野清隆著 (仮名)

(上)

北海道倶楽部の記録

会報「北海道倶楽部」平成十四年三月から平成十五年八月までに連載した15の記事のうち平成十五年十一月号までの9回を「上」として再掲し、以後の記事は別の機会に掲載する(著者は辰野清隆さんである。表記は年次記事は原則として、掲載時のままとした。注)は編集者の補筆で記した。

- 194 -

ちよっと暮らし

北海道生活体験

「ちょっと暮らし」とは？

大館市を中心とした「ちよっと暮らし」は、ふるさと納税の返礼品として、北海道の自然豊かな環境の中で、健康で快適な生活を送りたいという方々に、北海道の魅力を伝えるための取り組みです。

2011.4発行
パンフレットが2011年4月現在の情報のため内容が変更となつていられる場合がございます。

北海道移住促進協議会
NPO 法人住んでみたい北海道推進会議
(事務局) 〒100-0007 東京都千代田区千代田1-1-151 住んでみたい北海道推進会議内
TEL03-1251-13188 FAX03-1251-6595

- 209 -

「ちょっと暮らし」利用の際の注意事項

掲載されているのは2011年4月現在の情報です。料金と内容は変更となっている場合がございます。

- 滞在可能な人数は原則より異なります。
- 滞在日数の計算方法は基本的に「宿泊日」となります。タイプ等により異なりますのでご予約の際はご注意ください。
- なお、利用日数には滞在日数としてカウントされます。
- A) トイレ・シャワー・バス等 B) 車庫(1泊目迄)
- ※軽便バス(1泊目迄)は別途料金です(料金4日単位で別記。施設によって異なります)
- ※8月1日(土)入居開始の場合
 - A) 10時15分入居の場合 10時入居開始、20時退去
 - B) 10時入居の場合 10時入居開始、19時退去(入居開始日、退去日共に1日に限ります)
- 料金については、基本的に1日単位で表示しております。
- また、ご自宅と滞在期間の往復交通費、旅行傷害保険、滞在中の個人支出に関する費用は含まれておりませんので、準備が必要となります。
- お支払方法は滞在市町村によって異なります。
- *キャンセル料金は原則より異なります。
- *滞在中は、以下の行為は禁止です。物の乱取等の行為、用具等を行うこと、窓の開放、騒音等の行為、近所住民に迷惑を及ぼす行為。
- *各施設には滞在に必要な最低限の備品が揃っています。なお、ほとんどの施設には電話が備え付けられていません。

上記の各詳細については市町村ウェブサイト (<http://www.dankaj.jp/taken.html>) 参照 (お問い合わせ下さい)

- 210 -

「ちょっと暮らし」の素朴な疑問にお答えします

北海道暮らしを体験する生活体験型「ちょっと暮らし」(初めて利用するから不安)という方も、「既知が利用したことあるけど、他の人は滞在中心なのか」という方も、「ちょっと暮らし」の疑問にお答えします。

Q. どれくらいの方が利用しているの？

平成21年度は、平成18年度開始時の417名と比べると約3倍の1,158名の方が利用されました。平均滞在日数は4.8日となり、観光とは違った北海道での生活体験や移住に向けた居住体験を長期での方が多いようです。

年度	人数
18年度	417
19年度	618
20年度	803
21年度	1,158

Q. 誰が利用しているの？

ご利用者の年齢層

年齢層	割合
20代	1%
30代	1%
40代	1%
50代	1%
60代	11%
70代以上	85%

ご利用者の現在居住地

居住地	割合
道内	8%
道外	7%
その他	85%

利用者の年齢が50~70代が8割以上と大半を占めますが、40代以下の若手14%と、幅広い世代の方に利用いただいております。また、居住地域が多岐にわたっており、中でも道南、道東、道北、道央の4地区、そして道南、道東の力が多く利用されています。

Q. 滞在中どんなことをしているの？

滞在中探検した場所(回答数)

場所	回答数
スーパーや商店街での買い物	244
住宅(分譲地)などの不動産	84
観光など公共施設見学(利用)	84
公共交通機関の乗車	33
その他	43

滞在中はスーパーや商店街で買い物や探検など、「暮らし」目線で滞在されている方が多いようです。また、回答者の約7割の方が、オプションで行える体験プログラムや、パークゴルフ、交流会等をつらけ、地元の方と知り合う機会があったと回答されています。

Q. 「ちょっと暮らし」を利用してみて...

満足度(5点満点)

満足度	割合
大変満足(5点)	1%
満足(4点)	3%
やや満足(3点)	6%
やや不満足(2点)	41%
不満足(1点)	48%
無回答	48,000

※資料:平成21年度北海道移住促進協議会「ちょっと暮らし」アンケート調査に関する調査報告書(平成21年度調査結果)に関するデータ

- 211 -

5. 後援名義の付与	(1) 劇映画『大地の詩 -this one thing I do- 留岡幸助物語』 (2) 道産子サッポロビール会 (3) ふるさと会連合会「第17回産直フェア」(北海道フェア)
------------	--

にぎやかに新年交礼会

3キャンペーン推進を確認



北海道にエールを送る参加者ら

北海道倶楽部の2011年(平成23年)新年交礼会が1月28日夜、東京・紀尾井町のホテルニューオータニで開催、ふるさと納税、北方領土返還、北海道新幹線の早期実現など3キャンペーンを、今年も粘り強く進めていくことを誓った。

新年交礼会には、会員をはじめ北海道ゆかりの関係者約250人が参加。あいさつした松田昌士会長は、①道東京事務所改築に伴う倶楽部事務局問題②北方領土問題③北海道新幹線の札幌延伸問題などに触れた。

この中で松田会長は「国後島にメドベージェフ・ロシア大統領が訪問するなど、北方領土返還運動は厳しさを増している。菅直人首相に会った際、政府の取り組みに苦言を吐いた」などと述べた。

また、道新幹線については「昨年暮れ、東北新幹線がやっと青森まで来た。私は札幌まで必ず延びると信じている。実現のためみんなで応援していこう」と呼びかけた。

その後、村上隆男副会長(サッポロホールディングス社長)の音頭で「北海道!」と唱和しながら乾杯。参加者らは料理を楽しみながら名刺交換するなど会場にはあちこちに談笑の輪が出来ていた。

名誉会員就任を要請へ

ノーベル賞の鈴木氏

北海道倶楽部の定例理事会が12月16日開かれ、2011年度事業計画の策定方針などを話し合った。この中で、2010年のノーベル化学賞を受賞した、北大の鈴木章名誉教授Ⅱ写真、北海道新聞社提供Ⅱに対し、倶楽部名誉会員への就任を正式に求めることになった。

鈴木氏にはすでに、昨年10月開かれた「第47回交流イベント」の会場から、後輩でもある松田昌士会長が直接電話で名誉会員就任を打診した。

倶楽部には正式な名誉会員制度はないものの、「ノーベル賞受賞で倶楽部も大いに勇気づけられた」として、近く正式要請する。

理事会では2010年度の事業報告に続き、来年度の事業計画の策定方針について協議。その結果、本年度に引き続き、①ふるさと納税②北方領土返還推進を

訴える「ブラウンリボンバッジ」③北海道新幹線早期実現の「新幹線バッジ」の各キャンペーンの推進などを11年度計画にも盛り込むことを確認した。

また、今年建て替えを計画している道東京事務所問題について、4階に事務局を置く北海道倶楽部は「費用負担を含め、現行と同条件での使用」を求めていることから、理事会は今日13日に松田会長らが高橋はるみ知事に会い、協力要請することを決めた。



事務局問題で知事に要請

松田昌士北海道倶楽部会長と小池明夫副会長は1月13日、道庁に高橋はるみ知事を訪ね、今秋にも建て替えが予定されている道東京事務所をめぐり、「現在4階を使用している北海道倶楽部事務局については、新築後もこれまで通りの条件で入居させてほしい」などと協力を要請した。

席上、松田会長らは、倶楽部が道東京事務所に入居した、過去の経緯や首都圏の北海道応援団としての貢献を強調。これに対して、知事は「倶楽部が北海道のためにさまざまな公益活動を行っていることに感謝している」と述べた上、基本的に倶楽部の要望を受け入れる意向を示した。

具体的には、計画の進捗状況に応じてそのつど協議することとし、あらためて「倶楽部は建てかえに協力する」、「道は倶楽部の公益活動を支援する」ことを双方が確認した。

ブラウンリボンバッジ1万個突破！

北方領返還運動キャンペーンのシンボルとして、北海道倶楽部が昨年1月から有料で配布を始めた「ブラウンリボンバッジ」の真数が今年1月、1万個を突破した。注文は全国から寄せられ、2月末には1万2000個を超える勢いだ。

同バッジは拉致被害者救出キャンペーンのブルーリボンバッジと同デザイン。北方領土の「土」を強調し、色をブラウンとした。

配布開始以来、全国各地から注文が相次ぎ、2月7日現在の配布個数は1万1679個に達した。

このうち大口は、北方領土返還運動推進大阪府民会議の1300個、広島県地域女性団体連絡協議会の650個、千葉県・浦安鐵鋼団地協同組合の500個、北方領土返還促進福岡県民協議会の300個となっている。

一方、道内からは約650個にとどまり、うち250個は地元の根室市役所が占めている。道内の反応の悪さが気になるところだ。

1万個を突破したことで、ブラウンリボンバッジも着実に「市民権」を得ている。7日東京で開かれた、「北方領土返還要求全国大会」でも胸にバッジをつけた参加者が目立った。

北海道倶楽部は返還運動促進のため、今後もバッジの申し込みを受け付ける。1組4個入りで1000円。希望者は倶楽部・ブラウンリボンバッジ係(☎03・3581・4021)



倶楽部22年度総会開く

新年度予算案など承認

平成22年度(2010年)の北海道倶楽部通常総会が3月8日東京・恵比寿のサッポロビール本社講堂で開かれ、写真Ⅱ、平成23年度事業計画案、予算案などをいずれも原案通り承認した。新年度事業は、北方領土返還運動などこれまで続けてきた3キャンペーンを、引き続き推進していくことなどが柱。公益社団法人への移行問題については、管理部会で調査、検討していく方針だ。

総会には会員約80人が出席。議長に西村守正理事長を選任した後、平成22年度の事業、決算に当たる正味財産増減計算書など各報告を全会一致で認めた。



引き続き、23年度事業計画、予算案の審議に移り、総額2707万2000円に上る新年度予算案を原案通り承認した。

新年度事業は、北方領土返還運動、北海道新幹線の札幌延伸実現、ふるさと納税の3キャンペーンを踏襲するほか、昨年初めて参加した北海道フェア(代々木公園)に、今年も参加を検討する。

また、キャンペーンなどと連携した「特別講演会」については、北海道支部主導で道内開催を視野に入れた。公益事業活動の充実に向けて、倶楽部の組織、体制の強化も盛り込んだ。

「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」のCD完成

領土返還運動に心強い援軍

森繁久彌さんが作詞し北の方4島への思いを切々と歌った、「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」のCDが出来上がりました。3月25日、発売された。ソプラノ歌手の紙谷加寿子さんが、心を込めて熱唱。今後、北方領土返還運動の促進にも大きな「援軍」となりそうです。

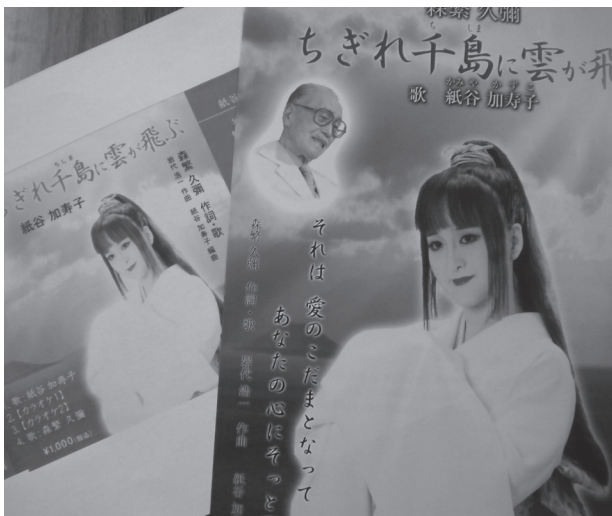
森繁さんがこの曲を作詞したのは1965年(昭和40年)。親交のあった岩城浩一さんが作曲し、77年にはNHKの番組で森繁さんが歌った。

領土返還運動に取り組む北海道倶楽部を知り、「運動盛り上げのために」と、CD実現に努力した森繁さんの次男、建(たつる)さんは、「映画の撮影で北海道に滞在中、毎日羅臼から国後島を見ていた父は、その故郷の島々から追われ方々の哀しく辛い話を忘れることが出来ず、その理不尽さに突き動かされるようにこの詩をつくりました」と話す。

CDを制作したのは「T

紙谷さんのOKIKO RECORD た。紙谷さんのこんなS、曲を歌い上げたのは「野薔薇座」を主宰、ソプラノ歌手としてオペラなどでも活躍している紙谷加寿子さん。

紙谷さんは「国民栄誉賞を受けた、森繁さんの曲を受け、森繁さんの曲を歌うことは光栄です。領土を追われ悲しみを背負わされた方々のために、心を込めて歌いました」と言い、建さんは「父の思いを受け止め、天使の声で歌い上げ



発売された「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」のCD
ポスターなど 女性が歌手の紙谷さん

会員企業も被災

東日本大震災は、北海道倶楽部の会員企業(維持会員)にも大きな被害をもたらした。サッポロビールは東北、関東の3工場が、操業停止に追い込まれたほか、製紙会社では犠牲者も出た。一方、被災地への支援にも積極的に関わり、会員企業の「善意」が被災者を勇気づけている。(2面に震災関連記事)

東北の工場など操業停止 「支援」や「善意」積極的に

各社のニューズリリース 王子製紙は、関連会社のなどによると、サッポロ 王子チヨダコンテナー仙台ビールは7工場のうち仙台工場が津波被害に遭い、復(宮城県名取市)、那須(栃旧のめどは立っていない、木県那須町)、千葉(千葉と、森永乳業はグループ企業の一が被災し、稼働停止となった。日本製紙グループの日本製紙は地震と津波で、石巻(宮城県石巻市)、岩沼(同岩沼市)、勿来(福島県いわき市)の3工場が壊滅的な打撃を受け、石巻工場では従業員2人が死亡した。現在、操業を全面的に停止しており、復旧を進めている。

ニトリ支援物資 義援金で16億円

会員企業は被災地への支援に、早い段階で乗り出した。ニトリは震災直後、第1弾の緊急支援物資として布団、毛布、敷物などを6万点(3億円相当)を寄贈、さらに第2弾として布団、シーツなど寝具類3万点(3億円相当)を被災地に送り出した。義援金も似鳥昭雄社長個人が5億円、ニトリグループ7社で4億円、7社従業員から1億円と積極的だ。似鳥社長は「これらの義

援金が被災地復旧と被災者救済に役立つことを願っている」とコメント、今後も最大限の復興支援に取り組む、という。

「ちぎれ千島に・・・」
CD有料で配布
北海道倶楽部

北海道倶楽部は3月25日発売された、「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」のCDを有料で配布する。CD代金1枚800円と郵送料200円が必要。

希望者は1000円分の切手を同封のうえ、郵送で同倶楽部・CD係(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 ☎03・3581・4021)へ。1週間前後でCDが届く。

「大地の詩」完成で試写会

遠軽町の児童自立支援施設「北海道家庭学校」を創設するなど社会事業家として大きな足跡を残した、留岡幸助(1864-1943年)の生涯を描いた映画「大地の詩(うた)」(北海道倶楽部後援)が完成、2月18日夜、東京・中野の「なかのZERO」で完成試写会が行われた。

「大地の詩」は現代ぶろだくしよん(東京)が製作、監督は山田火砂子さん。主役の幸助役を人気俳優の村上弘明さん、その妻を工藤夕貴さんが演じた。

上映前の舞台あいさつで、村上さんは「人は生まれながらにして値打ちは同じ、という留岡さんの考え方に感銘を受けた。この映画にかかわれたことに感謝している」と話し、工藤さんは「作品を通じて人間捨てたもんじゃないと感じた」。

また、山田監督は「いい映画になったのは、俳優陣のおかげ」と村上さんらを持ち上げた。

「大地の詩」は4月9日から新宿武蔵野館でロードショーが行われる。



舞台あいさつで映画をアピールする村上さん(中央)ら

映画「大地の詩」 一般公開へ

「北海道家庭学校」を創設するなど社会事業家として知られる、留岡幸助(1864-1943年)の生涯を描いた映画「大地の詩(うた)」(北海道倶楽部後援)の一般公開が4月9日から都内で始まった。

現代ぶろだくしよん(東京)の製作。新宿武蔵野館で行われたロードショーには、幸助役を務めた主演の村上弘明さん、妻・夏子役の工藤夕貴さん、山田火砂子監督が顔を見せ、舞台から「素晴らしい映画ができた」などと観客にあいさつした。

道内での公開は5月7日から。札幌市・JRタワー7階の札幌シネマフロンティア、旭川市のデザインシネマズ旭川でロードショーが行われる。映画の舞台となった地元の遠軽町、北見市などでは先行上映されている。

特別前売券は1500円(税込)。詳しくは現代ぶろだくしよん公式ホームページ(<http://www.gendaiapro.com/tomeika>)をご覧ください。

北海道倶楽部 8月に領土視察

北方領土返還運動に取り組む北海道倶楽部は8月20、21日の2日間の日程で、北方領土現地視察旅行を行う。根室、別海、中標津などを訪問、北方領土を直に見学するほか、元島民らと懇談する。21日には根室で開かれる納沙布岬マラソンの閉会式に出席する。

参加費は飛行機、ホテル、現地での交通費、飲食代などを含め約15万円。会員以外の一般参加も可。詳しくは同倶楽部(☎03・3581・4021)へ。

領土周辺視察 日程など決まる

北海道倶楽部は8月19日から21日まで「北方領土隣接地域」の視察を行うが、日程、費用などその概要が決まった。

東京からの参加者は19日、新千歳空港付近のホテルに前泊、20日朝の飛行機で同空港から、中標津空港に向かう。同日は、標津町、別海町などを見学。同町から国後島をのぞむクルージング体験も。

21日は納沙布岬や北方四島交流センターなどを視察した後、根室市役所前で北方領土ノサップ岬マラソン大会の閉会式に出席。釧路空港経由で帰京する。

旅行費用は14万円(羽田発着、飛行機、バス、食事、宿泊費など)。会員以外の参加も可能、希望者は7月11日までに同封の別紙申込書で倶楽部事務局(☎03・3581・4021)ファックス3581・4022へ。

道東京事務所新築へ

倶楽部現行条件で入居求め交渉

道は、北海道倶楽部事務局なども入居する道東京事務所（東京都千代田区永田町）について解体、複合ビルに新築することを正式に決めた。民間資金を活用して2012年6月に着工、13年9月にオープンする予定。倶楽部は、新築後も同ビルに事務局を置きたい考えで、今後、道と入居条件など詳細を詰める方針だ。

複合ビルは地上7階、地下1階で、延べ約6700平方メートル。70年の定期借地権を設定、道が土地を貸し付け、不動産会社のヒューリック（東京）、北海道ジェイ・アール商事（札幌）、栗林商会（室蘭）でつくる共同企業体が建設に当たる。総事業費は約18億円、道は土地の賃貸料から、東京事務所の家賃を差し引き、年間約4500万円の収入を見込んでいる。複合ビルの1階には道東京事務所と、オホーツク管内湧別町出身の村川明さんが運営する、道産食材中心のレストランが入居。2、7階はオフィスで、道内企業や自治体が優先入居できるように配慮する。

倶楽部はビル新築後も、従来のいきさつを考慮し、同条件で事務局を入居させてほしいと、道に繰り返し要請してきた。今年1月には、松田昌士会長と小池明夫副会長が道庁を訪ね、高橋はるみ知事と面談。席上、高橋知事は「倶楽部の活動には感謝している」として、基本的には倶楽部側の要望を受け入れる姿勢を示した。倶楽部としては今後、道と事務局の広さや賃貸料などを詰めた上、理事会の承認が得られれば、仮事務所に移転する。道事務所の移転先についても、共同企業体が対応するが、永田町の現在地から遠くない、赤坂や溜池山王地区などが検討されている。

秋の交流イベント 10月25日に開催

北海道倶楽部恒例の秋の交流イベント（旧道産子会）は、10月25日（火曜日）午後6時から東京・元赤坂の明治記念館で開かれる。48回目を迎える今年、倶楽部が継続して取り組む北方領土返還、北海道新幹線札幌延伸の早期実現、ふるさと納税の推進を確認する。参加者同士の親睦を深める。

代々木フェア 今年も参加

北海道倶楽部は9月30日から10月2日まで東京・代々木公園で開かれる、「第23回北海道フェアin代々木」に今年も参加する。テント1張りを借り、倶楽部が進める北方領土返還運動、北海道新幹線の札幌延伸実現など、キャンペーンの資料を展示する。昨年のような物販は行わない予定だ。

北海道倶楽部ブースなどをPRするため、イベント前に新宿、渋谷など周辺地区に約10万部の新聞折り込みチラシを配布する。

にぎやかに交流の夕べ

高橋知事も出席

北海道倶楽部恒例の第15回「交流の夕べ」が8月4日、東京・銀座の銀座スターホールで開かれた。今年は上京中の高橋はるみ知事も顔を見せ、なごやかな雰囲気の中で参加者らと交流した。

「交流の夕べ」には倶楽部会員ら約150人が参加。西村守正理事長、松田昌士会長に続き、あいさつに立った高橋知事は「東日本大震災では、道内でも約300億円の被害が出た。現在、復興に向け懸命に取り組んでいる」と、釧路管内厚岸町など太平洋側を中心に道内も被災地であることを強調した。

また、倶楽部が進める北海道新幹線の札幌延伸問題、北方領土返還運動などをめぐり、「希望を捨てず、札幌延伸には粘り強く取りかんでいく。北方領土問題は歯がゆい思いの連続だが、気概を持って政府には動いてもらわなければならない」と述べた。



交流の夕べであいさつする高橋知事

この後、懇親に移り参加者らの談笑の輪があちこちに。サッポロライオンが「ピヤホールの日」にちなみ行っているサンバイベントの、ダンシングチームが会場でリズム感あふれる踊りを披露すると、大きな拍手がわいた。

道産焼酎などが当たる抽選会もあり、参加者らは暑さを忘れて楽しいひとときを過ごした。

松田会長ら根室市など訪問

元島民らとも懇談

北海道倶楽部の松田昌士理事長、本間修事務局長らが会長（JR東日本顧問）ら参加した。一行は20日、根室管内標津町のサーモン科に苦言を呈し、「返還実現には、国民の団結が必要」と訴えた。

千島歯舞諸島居住者連盟根室支部とも懇談、宮谷内亮一支部長ら元島民は「今後の活動に向けて国民の意識を高めていきたい」などと語った。

同日夜には、同市内で松田会長の講演会が開かれ、集まった自治体や地元経済界の人たち約50人を前に「納沙布岬から島を見て涙



サンバで会場は盛り上がった



元島民（正面の3人）と懇談する岡村理事長ら



表彰式で記念品を渡す 岡村副理事長（左）＝前

21日には677人が参加し同市で「北方領土ノサツプ岬マラソン大会」が開かれ、大会表彰式で岡村副理事長が、選手らに記念品を贈った。

盛大に秋の交流イベント

高橋知事も出席

北海道倶楽部の第48回交流イベントが10月25日夜、東京・元赤坂の明治記念館で開かれた。高橋はるみ知事も姿を見せ、北方領土返還など倶楽部が進める3キャンペーンの継続を確認するとともに、親睦を深めた。

この後、懇親会に移り道産食材などを使った料理を堪能。また、「歌うバイオリニスト」として知られる百香さんが「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を熱唱した。

福引抽選会も行われ、航空券やホテル宿泊券など豪華賞品が当たると、会場がはため息も。日高管内浦河町、渡島管内知内町からも海産物など協賛品が寄せられ、人気を集めた。

高橋知事は「観光やお米のゆめぴりかで、北海道は一生懸命がんばっている。今後も首都圏からぜひ協力を」と呼びかけた。



高橋知事(右)と歓談する松田会長(左)と西村守正理事長

秋の叙勲に秋野氏(倶楽部員)

今年の秋の叙勲で、北海道緊急医療に尽力した。道倶楽部会員の秋野豊明(元札幌医科大学)が、ア・サハリン州ウゴレゴル瑞宝中綬章を受けた。

秋野さんの受章理由は「医学の発展と地域医療の推進」。1998年から2011年秋の叙勲の受章者4070人を発表した。道内の受章者は旭日章42人、瑞宝章170人の計212人。東京、千葉、神奈川県に次いで多かった。元網走市長の大場脩さん、元STV社長の石橋雄哉さんが旭日章を受けた。

政府は11月3日付で、

また、退任後は医療法人理事長として道内初のドクターヘリ事業を導入。広域

12月1日に銀座デモ 北方領土返還運動

北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会は12月1日、東京・銀座で領土返還を訴える、中央アピール行動を行う。当日は午前11時、京橋プラザ区民会館に集合、正午に同会館をスタートし、銀座、日比谷を経て日比谷公園までデモ行進する。参加希望者は倶楽部のHP参照。11月15日締め切り。

平成23年度 会員異動状況

(平成23年12月31日)

		平成 22 年度 末	内 容			平成 23 年度 末
			増	減	差引	
単位						
維 持 会 員	社 数 (社)	155	8	10	△ 2	153
	口 数 (口)	263	4	16	△ 12	251
	登録会員数 (名)	337	81	98	△ 17	320
正 会 員 数 (名)		276	16	44	△ 28	248
個人会員数合計 (名)		613	97	142	△ 45	568

正味財産増減計算書

(平成23年12月31日)

	当年度	前年度	増減	
基本財産収入	120	400	△ 280	
入会金	105,000	115,000	△ 10,000	
正会員会費収入	3,570,000	3,540,000	30,000	
維持会員会費収入	7,290,000	7,680,000	△ 390,000	維持会員会費減
広告収入	3,826,000	1,101,000	2,725,000	会員名簿広告料の増
交流、キャンペーン等収入	8,105,311	10,405,106	△ 2,299,795	交流会、ブラウンリボンバッジ、新幹線バッジの売上減
受取利息	10,898	33,027	△ 22,129	
雑収入	41,804	165,772	△ 123,968	
経常収益計	22,949,133	23,040,305	△ 91,172	
給料手当	8,352,394	4,455,640	3,896,754	*派遣費用の外注費から移行により増
諸謝金・雑給	510,000	777,000	△ 267,000	代々木北海道フェアマネキン等費用減
法定福利費	431,033	512,850	△ 81,817	
福利厚生費	0	25,500	△ 25,500	
退職給付繰入額	75,000	85,500	△ 10,500	
外注費	3,140,025	8,639,771	△ 5,499,746	*派遣費用を給料手当に移行減ほか
荷造運賃	260,980	271,470	△ 10,490	
広告宣伝費	743,188	3,486,300	△ 2,743,112	北海道NOW配布コストの減
会議費	123,720	322,885	△ 199,165	
旅費交通費	48,640	124,630	△ 75,990	
通信費	1,557,251	1,523,475	33,776	
販売品仕入代、手数料	1,236,900	2,369,580	△ 1,132,680	北海道フェアの品物代、ブラウンリボンバッジ、新幹線バッジの制作費の減
会合費	6,071,636	6,437,069	△ 365,433	
消耗品費	631,047	806,896	△ 175,849	IT機器とメンテナンス品の減
事務用品費	9,334	36,049	△ 26,715	
新聞図書費	114,561	102,840	11,721	
諸会費	25,000	25,000	0	
賃借料	906,267	737,818	168,449	
リース料	72,450	144,900	△ 72,450	
租税公課	74,200	80,000	△ 5,800	
雑費	449,983	508,740	△ 58,757	
経常費用計	24,833,609	31,473,913	△ 6,640,304	
当期経常増減額	△ 1,884,476	△ 8,433,608	6,549,132	
公益事業引当金収入*		16,870,354	△ 16,870,354	
当期正味財産増減額	△ 1,884,476	8,436,746	△ 10,321,222	
正味財産期首残高	8,436,746	0	8,436,746	
正味財産期末残高 (公益事業積立金)	6,552,270	8,436,746	△ 1,884,476	

正味財産増減計算書（事業別区分経理の内訳書）

		交流事業(合計)	キャンペーン(合計)	メディア事業	事業(共通)	事業(合計)	事業所(共通)	事業所(合計)
収入	基本財産収入	0	0	0	0	0	120	120
	入会金	0	0	0	0	0	105,000	105,000
	正会員会費収入	0	0	0	0	0	3,570,000	3,570,000
	維持会員会費収入	0	0	0	0	0	7,290,000	7,290,000
	広告収入	100,000	0	3,726,000	0	3,826,000	0	3,826,000
	交流、キャンペーン等収入	7,123,000	930,311	0	0	8,053,311	52,000	8,105,311
	受取利息	0	0	0	0	0	10,898	10,898
	雑収入	0	0	1,540	0	1,540	40,264	41,804
	経常収益計	7,223,000	930,311	3,727,540	0	11,880,851	11,068,282	22,949,133
事業費	給料手当	0	0	0	4,266,197	4,266,197		4,266,197
	諸謝金・雑給	170,000	340,000	0	0	510,000		510,000
	法定福利費	0	0	0	0	0		0
	福利厚生費	0	0	0	0	0		0
	退職給付繰入額	0	0	0	0	0		0
	外注費	14,700	0	1,093,525	963,400	2,071,625		2,071,625
	荷造運賃	232,080	5,530	23,370	0	260,980		260,980
	広告宣伝費	723,188	20,000	0	0	743,188		743,188
	会議費	0	0	0	0	0		0
	旅費交通費	19,550	0	15,320	0	34,870		34,870
	通信費	270,320	51,800	639,931	0	962,051		962,051
	販売品仕入代、手数料	0	1,236,900	0	0	1,236,900		1,236,900
	会合費	6,065,636	0	6,000	0	6,071,636		6,071,636
	消耗品費	40,843	0	72,740	0	113,583		113,583
	事務用品費	0	0	0	0	0		0
	新聞図書費	0	0	111,840	0	111,840		111,840
	諸会費	0	0	0	0	0		0
	賃借料	0	0	0	489,358	489,358		489,358
	リース料	0	0	0	0	0		0
	租税公課	0	0	0	0	0		0
雑費	82,698	183,995	8,610	0	275,303		275,303	
管理費	給料手当						4,086,197	4,086,197
	諸謝金・雑給						0	0
	法定福利費						431,033	431,033
	福利厚生費						0	0
	退職給付繰入額						75,000	75,000
	外注費						1,068,400	1,068,400
	荷造運賃						0	0
	広告宣伝費						0	0
	会議費						123,720	123,720
	旅費交通費						13,770	13,770
	通信費						595,200	595,200
	販売品仕入代、手数料						0	0
	会合費						0	0
	消耗品費						517,464	517,464
	事務用品費						9,334	9,334
	新聞図書費						2,721	2,721
	諸会費						25,000	25,000
賃借料						416,909	416,909	
リース料						72,450	72,450	
租税公課						74,200	74,200	
雑費						174,680	174,680	
	経常費用計	7,619,015	1,838,225	1,971,336	5,718,955	17,147,531	7,686,078	24,833,609
	当期経常増減額	△ 396,015	△ 907,914	1,756,204	△ 5,718,955	△ 5,266,680	3,382,204	△ 1,884,476
	当期正味財産増減額	△ 396,015	△ 907,914	1,756,204	△ 5,718,955	△ 5,266,680	3,382,204	△ 1,884,476
	正味財産期首残高							8,436,746
	正味財産期末残高 (公益事業積立金)							6,552,270

キャッシュフロー計算書

(間接法)

平成23年1月1日～平成23年12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額(当期正味財産増減額)	△ 1,884,476	△ 1,884,476
貯蔵品(増減)	△ 49,939	49,939
未収入金(増減)	49,340	△ 49,340
仮払金(増減)	△ 435,005	435,005
仮受金(増減)	6,586	6,586
退職給与引当金(増減)	75,000	75,000
建て替え費用引当金(増減)		
	キャッシュフロー	△ 1,367,286

科 目	当年度	前年度
現金・預金	13,373,275	14,740,561

増減
△ 1,367,286

貸借対照表

(平成23年12月31日)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	13,373,275	14,740,561	△ 1,367,286
貯蔵品	38,441	88,380	△ 49,939
未収入金	49,340		49,340
仮払金	65,000	500,005	△ 435,005
流動資産合計	13,526,056	15,328,946	△ 1,802,890
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	200,000	200,000	0
基本財産合計	200,000	200,000	0
(2) その他固定資産			
什器備品	3,000	3,000	0
電話加入権	180,000	180,000	0
その他固定資産合計	183,000	183,000	0
固定資産合計	383,000	383,000	0
資産合計	13,909,056	15,711,946	△ 1,802,890
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金	425,786	419,200	6,586
流動負債合計	425,786	419,200	6,586
2. 固定負債			
退職給与引当金	361,000	286,000	75,000
建て替え費用引当金	6,370,000	6,370,000	0
固定負債合計	6,731,000	6,656,000	75,000
負債合計	7,156,786	7,075,200	81,586
III 正味財産の部			
基本財産(基金)	200,000	200,000	0
正味財産	6,552,270	8,436,746	△ 1,884,476
公益事業積立金			
正味財産合計	6,752,270	8,636,746	△ 1,884,476
負債および正味財産合計	13,909,056	15,711,946	△ 1,802,890

バッジ対価の使用待ち切手

新年交礼会用はがき

源泉所得税、先払い会費

財産目録

(平成23年12月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
現金手元有高	0	0	0
普通預金 みずほ銀行(1)	1,868,953	293,102	1,575,851
普通預金 みずほ銀行(2)	640,000	7,000	633,000
普通預金 北洋銀行	290,165	158,792	131,373
普通預金 北海道銀行	51,724	2,144,689	△ 2,092,965
定期預金 北洋銀行	0	2,000,000	△ 2,000,000
定期預金 北海道銀行	10,000,000	10,000,000	0
郵便振替預金	522,433	136,978	385,455
未収入金	49,340		
貯蔵品	38,441	88,380	△ 49,939
仮払金	65,000	500,005	△ 435,005
流動資産合計	13,526,056	15,328,946	△ 1,802,890
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	200,000	200,000	0
基本財産合計	200,000	200,000	0
(2) その他固定資産			
什器備品	3,000	3,000	0
電話加入権	180,000	180,000	0
その他固定資産合計	183,000	183,000	0
固定資産合計	383,000	383,000	0
資産合計	13,909,056	15,711,946	△ 1,802,890
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金 名刺広告	7,000	0	7,000
仮受金 年会費	35,000	120,000	△ 85,000
仮受金 所得税	366,200	290,200	76,000
仮受金 雇用保険	13,500	9,000	4,500
仮受金 震災募金	4,086		
流動負債合計	425,786	419,200	6,586
2. 固定負債			
退職給与引当金	361,000	286,000	75,000
立て替え費用引当金	6,370,000	6,370,000	0
固定負債合計	6,731,000	6,656,000	75,000
負債合計	7,156,786	7,075,200	81,586
III 正味財産の部			
基本財産(基金)	200,000	200,000	0
正味財産	6,552,270	8,436,746	△ 1,884,476
正味財産合計	6,752,270	8,636,746	△ 1,884,476
負債および正味財産合計	13,909,056	15,711,946	△ 1,802,890

バッジ対価の使用待ち切手
新年交礼会用はがき

先払い会費
源泉所得税

収支計算書

(平成23年12月31日)

増減理由等は、正味財産増減計算書、収支予算書に準じる。

	予算	決算	増減
基本財産収入	400	120	280
入会金	115,000	105,000	10,000
正会員会費収入	3,540,000	3,570,000	△ 30,000
維持会員会費収入	7,680,000	7,290,000	390,000
広告収入	2,900,000	3,826,000	△ 926,000
交流、キャンペーン等収入	9,400,000	8,105,311	1,294,689
受取利息	33,027	10,898	22,129
雑収入	165,772	41,804	123,968
経常収益計	23,834,199	22,949,133	885,066
給料手当	4,050,000	8,352,394	△ 4,302,394
諸謝金・雑給	600,000	510,000	90,000
法定福利費	500,000	431,033	68,967
福利厚生費	25,500	0	25,500
退職給付			
外注費	8,000,000	3,140,025	4,859,975
荷造運賃	271,470	260,980	10,490
広告宣伝費	1,500,000	743,188	756,812
会議費	322,885	123,720	199,165
旅費交通費	124,630	48,640	75,990
通信費	1,523,475	1,557,251	△ 33,776
販売品仕入代、手数料	1,200,000	1,236,900	△ 36,900
会合費	6,437,069	6,071,636	365,433
消耗品費	806,896	631,047	175,849
事務用品費	36,049	9,334	26,715
新聞図書費	102,840	114,561	△ 11,721
諸会費	25,000	25,000	0
賃借料	737,818	906,267	△ 168,449
リース料	144,900	72,450	72,450
租税公課	80,000	74,200	5,800
雑費	508,740	449,983	58,757
経常費用計	27,072,272	24,758,609	2,313,663
当期収支差額	△ 3,238,073	△ 1,809,476	△ 1,428,597
期首繰越収支差額	14,909,746	14,909,746	0
当期収支差額	△ 3,238,073	△ 1,809,476	△ 1,428,597
次期繰越収支差額	11,671,673	13,100,270	△ 1,428,597

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針ほか

- (1) 新しい公益法人会計基準にあわせ、管理費と公益事業費を各事業部門(キャンペーン事業の細分化)ごとに区分し正味財産増減計算書(内訳書)を作成した。前年と対比のため同様な項目はまとめた。
- (2) 固定資産の償却は定額法による。
- (3) 退職給付繰入額(退職給与引当金)は期末要支給額の100%を計上している。
- (4) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記3.に記載するとおりである。
- (5) 下記項目は事業費と管理費に各1/2配賦した。

科目	総額	各1/2配賦額
給料手当(含 派遣費用)	8,532,394	4,266,197
外注費(業務委託 会報調査企画)	1,926,800	963,400
賃借料(行政財産使用料(北海道東京事務所))	828,567	414,283
賃借料(北海道支部使用賃借料)	5,250	2,625
賃借料合計	833,817	416,908
リース料(電話機器)	144,900	72,450

- (6) 建て替え費用引当金の見積(前期と同内容)

仮事務所移転期間の費用のみ引当

20.17 坪(現事務所面積 66.67㎡)

1.仮事務所移転期間

工事期間24ヶ月とし、前後1月を加算し、下記とする。

26 月

2.仮事務所賃料等

仮事務所賃料見積は北海道東京事務所に係る移転先賃料について(財)不動産研究所の不動産鑑定士が提示した賃料(共益費込の賃料範囲11,000~12,000円)を用いる。なお、健全な財務体質確保のため安全側の12,000円/坪を採用する。

12,000 円/坪X 20.17 坪X 26 月= **6,292,315 円**

3.移転運搬費、往復費用を見込む。

札幌通運株式会社の「事務所移転お見積書(往復費用)」による

一式 **872,000 円**

4.差し引くべき、現事務所の費用(年度予算計上分)

732,568 X26/24月 =

△ 793,615 円

差引引当金総額 6,370,699 円

同上端数調整後 6,370,000 円

2 基本財産の増減および残高

科目	前期末残高	期中増減	当期末残高
定期預金	200,000	0	200,000
基本財産合計	200,000	0	200,000

3 流動資産・流動負債と収支差額

科目	前期末残高	期中増減	当期末残高
現金・預金	14,740,561	△ 1,367,286	13,373,275
その他流動資産	588,385	△ 435,604	152,781
流動資産合計	15,328,946	△ 1,802,890	13,526,056
その他流動負債	419,200	6,586	425,786
流動負債合計	419,200	6,586	425,786
収支差額	14,909,746	△ 1,809,476	13,100,270

※ 昨年度のキャッシュフロー計算書訂正 基本財産200,000円増を追加

平成23年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

平成24年3月2日

社団法人 北海道倶楽部

理事長 西村 守正

監査報告書

平成23年度の会計報告につき、諸帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

平成24年2月16日

社団法人 北海道倶楽部

監事 森田 松太郎
(自署)

監事 西澤 正敬
(自署)

監事 日置 典宏
(自署)

平成24年度事業計画

平成24年1月1日から平成24年12月31日まで

種 別	概 要
平成24年度事業計画 1. 基本方針	北海道のためのキャンペーン事業に注力する。 公益事業推進体制のさらなる整備を行い、公益社団法人の認定を目指す。
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人認定の具体化に向け、新しい公益社団法人の定款について調査、研究、案作成を行う。 ・公益社団法人認定に向け、新しい会計基準に沿った会計処理を行う。 ・前年度における経常収支差改善の維持を目指す。 ・公益事業積立金(正味財産)を、公益事業に活用する。(今年度2,410,476円を引落す予定。) ・引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、新しい組織・制度の検討を行う。 ・当法人の各活動について、定款、基本方針、コンプライアンス等の面から検討、調整する。
3. 新規事業の計画	<p>○昨年の公益事業実施の成果を今年度事業推進に活かす。昨年に続き、下記分野ごとに担当を置き、事業協力・推進する。</p> <p>○北海道のためのキャンペーン事業につき、交流・メディア・調査研究(講演)等の方法で推進をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土問題について(ブラウンリボンバッジ、現地交流など) ・新幹線北海道延伸について(新幹線バッジ) ・ふるさと納税について ・ちょっと暮らしについて、道内外の交流について、アイヌ文化について、食について、環境問題について ・人的交流、メディアでの発信(北海道情報ラック、北海道”NOW”等)、講演などキャンペーン推進方法の充実
4. 既存事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き、既存事業を継承しつつ、すべての既存事業に公益性のウェイトを強める。(北海道に対する貢献および会員外の第三者を対象に開かれた活動など公益性に留意する。)
5. 北海道支部の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・道内でのキャンペーン・交流事業、調査研究事業(講演会など)を企画実施する。
6. 組織・体制	<ul style="list-style-type: none"> ・管理部会、新事業部会、既存事業部会、北海道支部の構成メンバーの拡充をする。(北海道支部のあり方は今後の検討課題とする) ・ボランティア、企業メセナなどとのタイアップによる公益事業活動の充実にむけ、体制を整備する。

種 別	概 要	
別表 公益事業計画一 覧表 (各部会対応) キャンペーン等の内容 詳細は各部会で今後検 討する。	新年交礼会 1月27日(金) 於 ホテルニューオータニ 「北方領土返還推進運動」「ブラウンリボンバッジ」キャンペー ン 「北海道新幹線早期実現」「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーンを新年交礼会(交流事業)において実施した。 (会員以外含め200名近い出席があった:会員外の北海道関 係者へも案内通知)	1月27日 済
	交流の夕べ キャンペーンを目的とした夏の交流事業を実施する。	8月3日
	北海道での交流、特別講演会(仮称) 昨年に続き北方領土隣接地域(根室など)での実施予定	8月
	交流イベント 「We Love Hokkaido」 (旧道産子の会、北海道関係者・愛する者の集い 500名) キャンペーン、交流事業を実施	10月10日
	特別講演会 キャンペーンなどに関連した講演テーマを検討する。 (講演テーマ、行政との協賛などにより公共性のあるものとし、 一般参加者を呼ぶ。北海道での開催も検討)	未定
	情報展示イベント 昨年の北海道フェア参加による情報展示イベントを今年度も検 討する。 (道内情報を伝達することを主としたキャンペーン)	10月
	会報の発行・配布 情報紙「北海道 "NOW"」配布の成果も踏まえ、会報の配布先・ 配布方法、編集内容、発行体制を見直す。	随時
	北海道情報ラック 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに配信する。	毎月
	ホームページ 刷新・更新	随時
	親睦会 ・北星会(ゴルフ)、麻雀会、囲碁会の運営体制の整備をおこなう。	年4回

平成24年度収支予算書

(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	H24 予算	H23 予算	増減
基本財産収入	120	400	△ 280
入会金	105,000	115,000	△ 10,000
正会員会費収入	3,570,000	3,540,000	30,000
維持会員会費収入	7,290,000	7,680,000	△ 390,000
広告収入	2,900,000	2,900,000	0
交流、キャンペーン等収入	8,105,311	9,400,000	△ 1,294,689
受取利息	10,898	33,027	△ 22,129
雑収入	41,804	165,772	△ 123,968
経常収益計	22,023,133	23,834,199	△ 1,811,066
給料手当	8,352,394	4,050,000	4,302,394
諸謝金・雑給	510,000	600,000	△ 90,000
法定福利費	431,033	500,000	△ 68,967
福利厚生費	0	25,500	△ 25,500
退職給付繰入額	75,000	75,000	0
外注費	2,740,025	8,000,000	△ 5,259,975
荷造運賃	260,980	271,470	△ 10,490
広告宣伝費	743,188	1,500,000	△ 756,812
会議費	123,720	322,885	△ 199,165
旅費交通費	48,640	124,630	△ 75,990
通信費	1,557,251	1,523,475	33,776
販売品仕入代、手数料	1,236,900	1,200,000	36,900
会合費	6,071,636	6,437,069	△ 365,433
消耗品費	631,047	806,896	△ 175,849
事務用品費	9,334	36,049	△ 26,715
新聞図書費	114,561	102,840	11,721
諸会費	25,000	25,000	0
賃借料	906,267	737,818	168,449
リース料	72,450	144,900	△ 72,450
租税公課	74,200	80,000	△ 5,800
雑費	449,983	508,740	△ 58,757
経常費用計	24,433,609	27,072,272	△ 2,638,663
当期収支差額	△ 2,410,476	△ 3,238,073	827,597
期首繰越収支差額	6,552,270	14,909,746	△ 8,357,476
当期収支差額	△ 2,410,476	△ 3,238,073	827,597
次期繰越収支差額	4,141,794	11,671,673	△ 7,529,879

H24 予算は、前年実績と同額を基本。増減は注記した。

前年実績より名簿広告減

交流会収入、バッジ収入減分

* 派遣費用を外注費から移行

* 派遣費用を給料手当に移行

さらに収支差額改善に努める

注記：借入金限度額 0円 債務負担額（限度額） 0円とする。

平成 24 年 3 月 23 日 就任 理事、監事役員候補

NO	倶楽部役員候補	重任／就任	名前
1	理事 会長	重任	松田 昌士
2	理事 副会長	重任	村上 隆男
3	理事 副会長兼北海道支部長	重任	小池 明夫
4	理事 理事長兼管理部会長	重任	西村 守正
5	理事 副理事長兼新事業部会長	重任	岡村 進
6	理事 副理事長兼既存事業部会長	重任	香西 慧
7	理事	重任	阿部 武彦
8	理事	重任	壺岐 聰
9	理事	重任	石川 孝
10	理事	重任	泉田 孝
11	理事	重任	上野 徹
12	理事	重任	内山 斉
13	理事	重任	榎本 龍幸
14	理事	重任	及川 智
15	理事	重任	近江 秀彦
16	理事	重任	数納 壽
17	理事	重任	木村 昌平
18	理事	重任	栗林 宏吉
19	理事	重任	近藤 剛
20	理事	重任	佐藤 育男
21	理事	重任	沢 邦彦
22	理事	重任	篠田 和久
23	理事	重任	清水 範子
24	理事	重任	白井 芳夫
25	理事	重任	鈴木 秀一
26	理事	重任	関 收
27	理事	重任	高橋 昂平
28	理事	重任	高橋 純二
29	理事	重任	高橋 多華夫
30	理事	重任	竹鶴 威
31	理事	重任	辰野 清隆
32	理事	重任	棚橋 祐治
33	理事	重任	長井 幸夫
34	理事	重任	中田 一男
35	理事	重任	二階堂 裕隆
36	理事	重任	似鳥 昭雄
37	理事 事務局長	重任	本間 修
38	理事	重任	松久 直史
39	理事	重任	八木 秀記
40	理事	重任	安川 英昭
41	理事	就任	五十嵐 紀男
42	理事	就任	山木 昇
43	監事	重任	西澤 正敬
44	監事	重任	日置 典宏
45	監事	重任	森田 松太郎

- ・役員任期は平成 26 年 3 月 22 日まで
(公益法人移行などの場合は、移行の前日まで)
- ・現役員は全員、平成 24 年 3 月 22 日で任期満了
- ・公益認定申請をひかえ、重任を原則とした
- ・就任には就任承諾書が必要条件である
- ・理事、監事は総会で選任(補充選任は理事会)
- ・会長、副会長、理事長、副理事長は、理事の中から総会で選任

平成 24 年 3 月 23 日 就任 相談役・顧問・参与候補

- ・任期は平成 26 年 3 月 22 日まで（公益法人移行などの場合は、移行の前日まで）
- ・現職は全員、平成 24 年 3 月 22 日で任期満了
- ・公益認定申請をひかえ、重任を原則とした
- ・就任には就任承諾書が必要条件である
- ・理事会の推薦、理事長の委嘱で選任

NO	役職	重任／就任	名前	勤務先
1	相談役	重任	藤田 恒郎	株式会社北海道銀行
2	顧問	重任	大野 晃	森永乳業株式会社
3	顧問	重任	栗林 定友	栗林商船株式会社
4	顧問	重任	島村 靖三	株式会社 明治
5	顧問	重任	白本 貞昭	株式会社トーモク
6	顧問	重任	高橋 國二	株式会社東欧商会
7	顧問	重任	田崎 孝	無臭元工業株式会社
8	顧問	重任	田中 時信	オエノンホールディングス株式会社
9	参与	重任	青木 正実	サッポロビール株式会社
10	参与	重任	厚谷 襄児	日比谷総合法律事務所
11	参与	重任	礮 正雄	西新橋総合事務所
12	参与	重任	大坪 英臣	東京大学
13	参与	重任	小笠原 昌平	日本高圧コンクリート株式会社
14	参与	重任	齋藤 久章	齋久工業株式会社
15	参与	重任	佐々木 巖	株式会社サニー
16	参与	重任	高木 晃一	
17	参与	重任	中村 喜久男	株式会社岡村製作所

定款第 11 条に基づく会費未納者等の除名について

議案の主旨 1. 会費未納者につき、定款第 11 条第 1 号にもとづき除名する。
(平成 23 年末に再請求を実施済)
2. 連絡先が不明となり、各種案内（会費請求等の連絡）が送付できなくなった会員について、定款第 11 条第 2 号にもとづき除名する。

今回の適用対象会員 1. 会費が平成 21 年、平成 22 年、平成 23 年の 3 年度にわたり未納の会員。
(平成 24 年 1 月末時点) 2. 北海道倶楽部に届けられた連絡先で連絡が見つからない、連絡先不明な会員。